

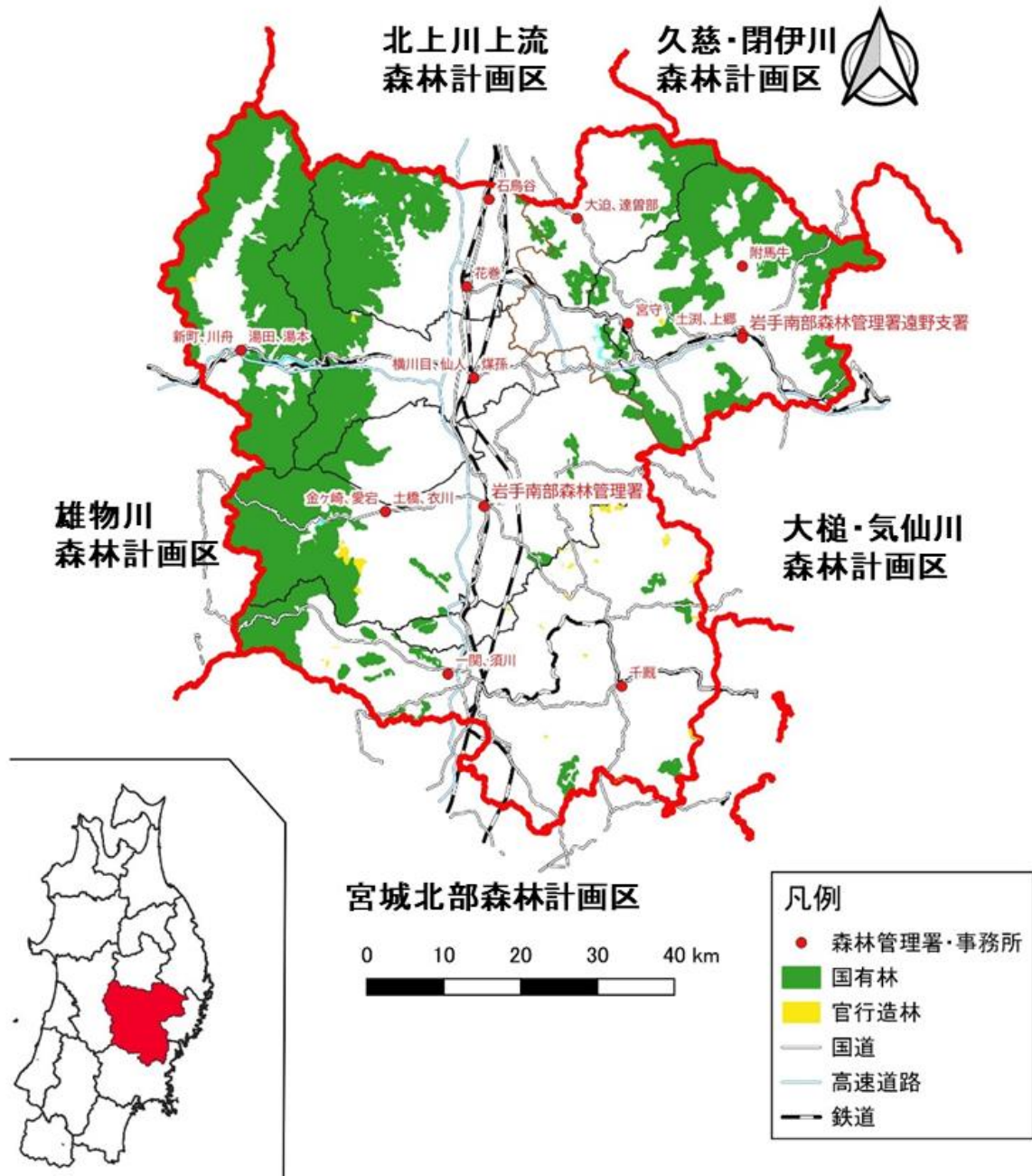
北上川中流国有林の地域別の森林計画書

(北上川中流森林計画区)

計画期間 自 令和5年4月1日
至 令和15年3月31日

東北森林管理局

北上川中流森林計画区の位置図



目次

I	計画の大綱.....	1
第1	森林計画区の概況.....	1
1	位置.....	1
2	自然的背景.....	1
(1)	地勢.....	1
(2)	地質及び土壌.....	1
(3)	気候.....	1
(4)	林況.....	1
3	社会経済的背景.....	2
(1)	土地利用の現況.....	2
(2)	地域産業の概要.....	2
(3)	計画区における国有林の位置付け.....	2
第2	前計画の実行結果の概要及びその評価.....	4
第3	計画樹立に当たっての基本的な考え方.....	5
II	計画事項.....	6
第1	計画の対象とする森林の区域.....	6
第2	森林の整備及び保全に関する基本的な事項.....	7
1	森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項...	7
(1)	森林の整備及び保全の目標.....	7
(2)	森林の整備及び保全の基本方針.....	9
(3)	計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等.....	11
2	その他必要な事項.....	11
(1)	溪畔周辺の整備・保全.....	11
第3	森林の整備に関する事項.....	12
1	森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）.....	12
(1)	立木の伐採（主伐）の標準的な方法.....	12
(2)	立木の標準伐期齢.....	14
2	造林に関する事項.....	14
(1)	人工造林に関する事項.....	14
(2)	天然更新に関する事項.....	15
(3)	その他必要な事項.....	16
3	間伐及び保育に関する事項.....	17
(1)	間伐の標準的な方法.....	17
(2)	保育の標準的な方法.....	17
4	公益的機能別施業森林の整備に関する事項.....	19
(1)	公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法.....	19
5	林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項.....	21
(1)	林道（林業専用道を含む。以下同じ。）等の開設及び改良に関する基本的	

	な考え方.....	21
(2)	効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方.....	22
(3)	林産物の搬出方法等.....	22
(4)	その他必要な事項.....	22
6	森林施業の合理化に関する事項.....	23
(1)	林業に従事する者の養成及び確保に関する方針.....	23
(2)	作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針.....	23
(3)	林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針.....	23
(4)	その他必要な事項.....	23
第4	森林の保全に関する事項.....	24
1	森林の土地の保全に関する事項.....	24
(1)	樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区.....	24
(2)	森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法.....	25
(3)	土地の形質の変更に当たって留意すべき事項.....	25
2	保安施設に関する事項.....	26
(1)	保安林の整備に関する方針.....	26
(2)	保安施設地区の指定に関する方針.....	26
(3)	治山事業の実施に関する方針.....	26
(4)	その他必要な事項.....	26
3	鳥獣害の防止に関する事項.....	27
(1)	鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法.....	27
(2)	その他必要な事項.....	27
4	森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項.....	28
(1)	森林病虫害等の被害対策の方針.....	28
(2)	鳥獣害対策の方針（3に掲げる事項を除く。）.....	28
(3)	林野火災の予防の方針.....	28
(4)	その他必要な事項.....	28
第5	計画量等.....	29
1	伐採立木材積.....	29
2	間伐面積.....	29
3	人工造林及び天然更新別の造林面積.....	29
4	林道の開設又は拡張に関する計画.....	30
5	保安林の整備及び治山事業に関する計画.....	32
(1)	保安林として管理すべき森林の種類別面積等.....	32
(2)	保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等.....	32
(3)	実施すべき治山事業の数量.....	33
第6	その他必要な事項.....	35

別紙1	保安林の指定施業要件.....	45
別紙2	自然公園における施業の方法.....	47
別紙3	砂防指定地等の施業方法.....	48
	計画事項の別表.....	49
別表1	公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業方法.....	50
	(1) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林....	50
	(2) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能 又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林....	51
別表2	鳥獣害防止森林区域.....	53
(附)	参考資料.....	54
1	森林計画区の概況.....	55
	(1) 市町村別土地面積及び森林面積.....	55
	(2) 地況（気候）.....	55
	(3) 土地利用の現況.....	56
	(4) 産業別生産額.....	56
	(5) 産業別就業者数.....	57
2	森林の現況.....	58
	(1) 齢級別森林資源表.....	58
	(2) 制限林普通林別森林資源表.....	63
	(3) 市町村別森林資源表.....	64
	(4) 制限林の種類別面積.....	67
	(5) 樹種別材積表.....	68
	(6) 荒廃地の面積.....	68
	(7) 森林の被害.....	68
3	林業の動向.....	69
	(1) 森林組合及び生産森林組合の現況.....	69
	(2) 林業事業体等の現況.....	71
	(3) 林業労働力の概況.....	71
	(4) 林業機械化の概況（高性能林業機械）.....	72
4	前期計画の実行状況.....	73
	(1) 伐採立木材積.....	73
	(2) 間伐面積.....	73
	(3) 人工造林・天然更新別の面積.....	73
	(4) 林道の開設又は拡張の数量.....	73
	(5) 保安施設の数量.....	74
5	林地の異動状況（森林計画の対象森林）.....	74
	(1) 森林より森林以外へ異動.....	74
	(2) 森林以外より森林へ異動.....	74
6	森林資源の推移.....	75

(1)	分期別伐採立木材積等.....	75
(2)	分期別期首資源表.....	76
7	その他.....	77
(1)	持続的伐採可能量.....	77
(2)	その他.....	78
ア	国有林の地域別の森林計画の沿革.....	78
イ	担当者の役職及び氏名並びに樹立に従事した期間.....	79

I 計画の大綱

第1 森林計画区の概況

1 位置

本森林計画区は、岩手県南西部に位置し、北側は北上川上流及び久慈・閉伊川森林計画区、東側は大槌・気仙川森林計画区、南側は宮城北部森林計画区、西側は雄物川森林計画区に接し、奥州市などの5市3町を包括する区域である。

2 自然的背景

(1) 地勢

本森林計画区は、西は和賀岳(1,439m)、焼石岳(1,548m)、栗駒山(1,626m)等が奥羽山脈を構成し、北東から東にかけては早池峰山(1,917m)、薬師岳(1,645m)、鶏頭山(1,445m)、白見山(1,173m)等を擁する北上高地が走り、南には隆起準平原地形の比較的平坦な山並みが連なっている。

主要河川は、北上川が本森林計画区の中央部を北から南に貫流し、猿ヶ石川、豊沢川、和賀川、胆沢川、磐井川、千厩川等の中小河川が北上川に注いでいる。

(2) 地質及び土壌

本森林計画区のうち、奥羽山脈の地質の大部分は第三紀層で、基岩は凝灰岩、頁岩、砂岩、安山岩等が広く分布している。

また、北上高地の大部分は古生層によって占められ、基岩は花崗岩が広範囲に分布し、そのほかの地質は主として粘板岩、砂岩、石灰岩等からなっている。

土壌は、西部山岳地帯では褐色森林土が、東部山岳地帯及び中央山岳地帯では黒色土が広く分布する。なお、西部山岳地帯の標高がおおむね1,000m以上、東部山岳地帯の標高が900m以上の区域にはポドゾル土壌が出現する。

(3) 気候

平成24年～令和3年の10年間における気象観測データでは、最高気温は38.0℃（一関市）、最低気温は-22.3℃（遠野市）、年平均気温は約9℃～12℃である。年間降水量は約1,100～2,200mmであり、秋田県境付近で比較的多く、最深積雪量279cm（西和賀町）となっている。

(4) 林況

ア 人工林

本森林計画区の国有林の人工林面積は57千haで、立木地面積134千haの43%を占めている。

また、人工林蓄積12,019千m³で、総蓄積23,349千m³の51%を占めており、樹種別ではスギが48%、カラマツが23%、アカマツが10%となっている。

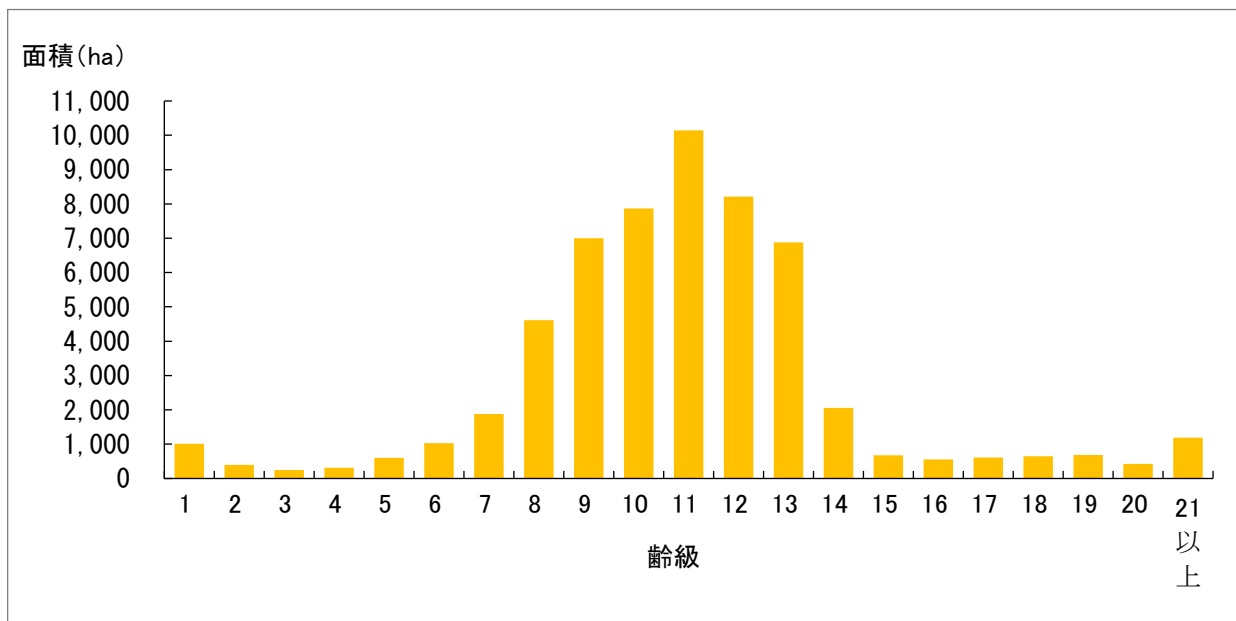


図 北上川中流森林計画区の国有林の齢級別人工林面積

(注 齢級は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1齢級」と数える。)

イ 天然林

天然林面積は77千haで、立木地面積の57%を占めており、ブナ類を主とする広葉樹林が大半を占めている。

3 社会経済的背景

(1) 土地利用の現況

本森林計画区の総面積は526千haで、岩手県の総面積の34%を占めている。土地利用状況は、森林が353千haで本計画区面積の67%を占め、農地が15%（水田12%）、その他が18%となっている。

(2) 地域産業の概要

本森林計画区の就業者総数は236千人で、その産業別の割合は第1次産業が11%、第2次産業が30%、第3次産業が57%である。

総生産額は約1兆9千億円で、その産業別の割合は第1次産業が3%、第2次産業が35%、第3次産業が62%である。

なお、第1次産業に占める林業の割合は、就業者数では3%、生産額では7%となっている。

(3) 計画区における国有林の位置付け

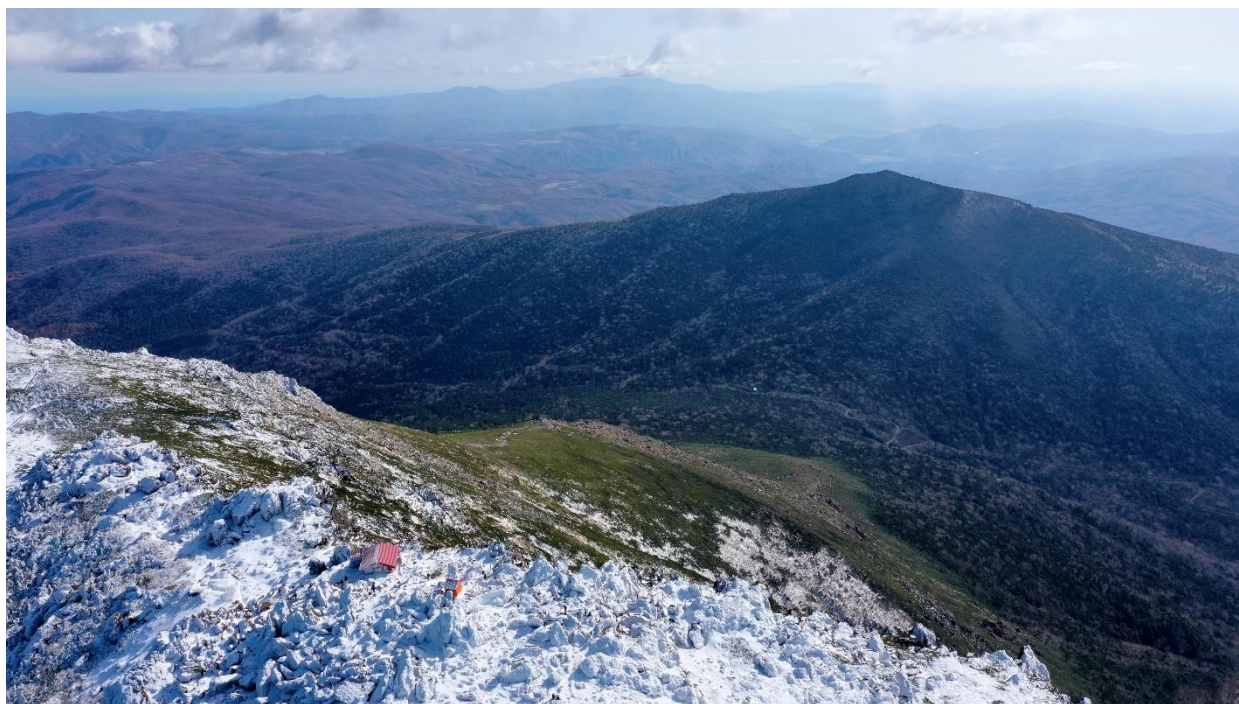
本森林計画区の国有林面積は150千haで、計画区内の土地面積526千haの29%、森林面積353千haの43%を占めている。

岩手県内にある5森林計画区の中で、国有林面積が最も大きい地域である。国有林の96%

が保安林に指定されており、水源涵養^{かん}や土砂流出防備等に重要な役割を担っている。

本計画区には栗駒国定公園、早池峰国定公園、花巻温泉郷県立公園及び湯田温泉郷県立自然公園をはじめとする豊かな自然環境が保全されている森林や森林景観の優れた地域、森林レクリエーションに適した地域も多く、国民の憩いの場として国有林が広く活用されている。

特に「日本美しの森 お薦め国有林」に選ばれた夏油高原野外スポーツ地域・夏油自然観察教育林は、新緑から紅葉まで満喫できる名湯と豪雪の恵みを求め多くの方が訪れ、地域の活性化の一翼を担っている。



【早池峰山山頂から薬師岳（遠野市）】

第2 前計画の実行結果の概要及びその評価

前計画の前半5ヵ年（平成30年度～令和4年度）の実行結果の概要については、次のとおりである（令和4年度は実行予定を計上している）。

伐採立木材積のうち主伐については、立木販売の入札不調や分収林契約相手の意向による伐期の延長に伴い実施箇所が減少し、計画を下回る実績となった。

間伐については、豪雨等による林道等の災害により実行を見合わせたことに伴い、計画を下回る実績となった。

人工造林については、予定していた分収林の入札不調や伐期延長、計画期間の後半に主伐した箇所の更新が第6次計画に持ち越しになったことにより、更新発生箇所が減少し計画を下回る実績となった。

天然更新については、薪炭共用林の伐採取りやめによる更新発生箇所の減少により、計画を下回る実績となった。

林道等の開設については、森林整備に必要な路網を計画したが、豪雨等による被災箇所の改良を優先的に対応したため、計画を下回る実績となった。

治山事業については、緊急性・重要性の高い被災箇所の復旧を優先したことにより、計画を下回る実績となった。

○ 前計画の前半5ヵ年の実行結果の概要

	計画	実行
伐採立木材積	1,651千m ³	1,236千m ³ (75)
主伐	801千m ³	620千m ³ (77)
間伐	850千m ³	616千m ³ (72)
間伐面積	12千ha	5千ha(42)
造林面積	2,794ha	1,058ha(38)
人工造林	2,545ha	1,012ha(40)
天然更新	249ha	47ha(19)
林道等の開設又は拡張	開設：47.9km 拡張：2.5km	開設：29.3km(61) 拡張：3.1km(124)
保安林等の整備	指定：－ha 解除：－ha	指定：223ha 解除：1ha
水源涵養	指定：－ha 解除：－ha	指定：－ 解除：－ha
災害防備	指定：－ha 解除：－ha	指定：223ha 解除：1ha
保健、風致の保存等	指定：－ha 解除：－ha	指定：－ 解除：－ha
治山事業	114地区	34地区

注1 ()内の数値は計画量に対する実行量の割合(%)である。

注2 単位未満を四捨五入するため、総数と内訳の合計は必ずしも合致しない。

注3 「－」は該当なし。

第3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

森林は、国土の保全、水源の涵養^{かん}、生物多様性の保全、地球温暖化防止、文化の形成、木材等の物質生産等の多面的機能を有しており、国民生活に様々な恩恵をもたらす「緑の社会資本」である。

とりわけ、戦後に積極的に造成された人工林を主体に蓄積が年々増加しており、多くの人工林が主伐期を迎え、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造成すべき段階にある。

このような中で、森林資源を有効に利用しながら森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るためには、より効率的かつ効果的な森林の整備及び保全を進めていく必要がある。こうした情勢を踏まえ、森林の現況、自然条件、社会的条件、国民のニーズ等に応じて、施業方法を適切に選択し、計画的に森林の整備及び保全を進め、望ましい森林の姿を目指していく。

本計画においては、このような基本的な考え方に沿って、森林の整備及び保全の目標、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等に関する事項を明らかにする。

なお、計画の樹立に当たっては、全国森林計画の計画事項に即しつつ、本森林計画区の特徴及び森林・林業等に関する諸施策の実施状況等を考慮し、民有林・国有林間での一層の連携強化のもと、その効率的な実行が図られるものとなるよう配慮する。

II 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域

本計画の対象とする森林面積は下表のとおりである。

○ 市町村別面積

単位 面積：ha

市 町 村	面 積	備 考
総 数	150,364.50	
花巻市	27,268.46	岩手南部森林管理署及び遠野支署
北上市	17,898.41	岩手南部森林管理署
遠野市	28,720.32	遠野支署
一関市	10,091.72	岩手南部森林管理署
奥州市	24,067.51	岩手南部森林管理署
西和賀町	39,077.36	岩手南部森林管理署
金ヶ崎町	2,867.62	岩手南部森林管理署
平泉町	373.10	岩手南部森林管理署

注1 計画の対象とする森林の区域は、森林計画図において表示する区域内の国有林とする。

注2 森林計画図の縦覧場所は、東北森林管理局計画課、岩手南部森林管理署及び遠野支署とする。

第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

(1) 森林の整備及び保全の目標

本森林計画区の国有林においては、流域における農業その他経済活動の基盤となる安定的な水資源の確保に資するよう、全域で水源涵養機能の維持増進を図る。そのため、適切な間伐等の実施や適確な更新を確保するとともに、花粉発生源対策を推進するほか、天然力を活用した施業を主体として活力ある健全な森林状態を維持する。地質的にぜい弱な地域等においては、特に山地災害防止機能／土壤保全機能の維持増進に配慮した森林整備や地質、気候等の地域の特性に応じた治山施設の整備を推進する。

また、本森林計画区の国有林には、早池峰山周辺森林生態系保護地域をはじめとした原生的な天然林、地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物が生育・生息する森林も多い。加えて、早池峰国定公園、栗駒国定公園などの森林景観の勝れた地域も多く、登山等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されており、このような森林においては、特に生物多様性保全機能及び保健・レクリエーション機能の維持増進に配慮して整備・保全していく。

併せて、木材等生産機能については、上記の適切な施業の結果得られる木材を安定供給体制の整備等の施策の推進に寄与するよう、計画的に供給することにより発揮する。

以上の目標の実現を図るに当たり、森林の有する各機能について、その機能発揮の上から望ましい森林資源の姿は次のとおりである。

(水源涵養機能)

下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林。



【仙人田沢溜池（花巻市）】

(山地災害防止機能／土壤保全機能)

下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林。



【治山ダム（遠野市）】

(保健・レクリエーション機能)

身近な自然・自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林。



【夏油自然観察教育林（北上市）】

(文化機能)

史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されているなど、精神的・文化的・知的向上等を促す場としての森林。



【古事の森（奥州市）】

(生物多様性保全機能)

全ての森林が発揮するものであるが、属地的に発揮されるものを示せば、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林等、その土地固有の生物群集を構成する森林。



【栗駒山・栃ヶ森山周辺緑の回廊（一関市）】

(木材等生産機能)

林木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が多い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。



【森林整備の土場（遠野市）】

(2) 森林の整備及び保全の基本方針

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進する。

具体的には、森林の有する諸機能が発揮される場である「流域」を基本的な単位として、森林の有する水源涵養、山地災害防止／土壤保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全及び木材等生産の各機能を高度に発揮するための適切な森林施業の面的な実施、林道等の路網の整備、保安林制度の適切な運用、治山施設の整備、森林病虫害や野生鳥獣による被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。

その際、生物多様性の保全や地球温暖化の防止に果たす役割はもとより急速な少子高齢化と人口減少等の社会的情勢の変化、豪雨の増加等の自然環境の変化、流域治水と連携した対策の必要性、花粉発生源対策の推進の必要性等に配慮する。

また、森林の状況を的確に把握するための森林資源のモニタリングの適切な実施や、リモートセンシング及び森林 GIS の効果的な活用を図る。

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針
水源涵養機能	<p>ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する森林並びに地域の用水源として重要なため池、湧水地及び溪流等の周辺に存する森林は、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、洪水の緩和や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を推進するとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図る。</p> <p>また、自然条件や国民のニーズ等に応じ、奥地水源林等の人工林における針広混交の育成複層林化など天然力も活用した施業を推進する。</p> <p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>
山地災害防止機能／土壤保全機能	<p>山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出、崩壊その他山地災害の防備を図る必要のある森林は、山地災害防止機能／土壤保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図る施業を推進する。</p> <p>また、自然条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の侵食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針
保健・レクリエーション機能	<p>観光的に魅力のある高原、溪谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、国民の保健・教育的利用等に適した森林は、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、国民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や国民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進する。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>
文化機能	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林は、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進する。</p> <p>また、風致の保存のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>
生物多様性保全機能	<p>森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方に基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件等に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指す。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全する。</p> <p>また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進する。</p>
木材等生産機能	<p>林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林は、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育、間伐等を推進することを基本とし、将来にわたり育成単層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の集約化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

○ 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態

単位 面積：ha、蓄積：m³/ha

		現 況	計画期末
面積	育成単層林 森林を構成する林木を皆伐により伐採し、 単一の樹冠層を構成する森林として人為※ ₁ により成立させ維持される森林	57,799.75	53,512.00
	育成複層林 森林を構成する林木を帯状若しくは群状 又は単木で伐採し、一定の範囲又は同一空間 において複数の樹冠層※ ₂ を構成する森林と して人為により成立させ維持される森林	2,024.60	4,397.08
	天然生林※ ₃ 主として天然力※ ₄ を活用することにより 成立させ維持される森林	73,940.80	73,775.46
森林蓄積 (ha 当たり)		174.55	183.76

※1 「人為」とは、目的に応じ、植栽、更新補助（天然下種更新のための地表のかきおこし・刈払い等）、芽かき、下刈、除伐等の保育及び間伐等の作業を行うこと。

※2 「複数の樹冠層」とは、林齢や樹種の違いから樹木の高さが異なることにより生じるもの。

※3 「天然生林」には、未立木地、竹林等を含む。

※4 「天然力」とは、自然に散布された種子が発芽・生育することをいう。

2 その他必要な事項

(1) 溪畔周辺の整備・保全

溪流沿いや湖沼の周囲等溪畔周辺は、流域全体の生物多様性の保全に大きく貢献し、水系への土砂流出の抑制等公益的機能の発揮上重要な役割を果たしていることから、溪畔周辺の保全及びその機能や役割の維持・増進が図られるよう、本来成立すべき植生による上流から下流までの連続性の確保に努める。

第3 森林の整備に関する事項

森林施業に当たっては、第2の1に定める森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項によるほか、次に掲げる基準による。

なお、保安林及び保安施設地区内の森林並びに法令により立木の伐採につき制限がある森林（森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）第10条に規定する森林をいう。）については、制限の目的の達成に必要な施業を行う。

また、施業の実施に当たっては、山村における過疎化や高齢化の進行を踏まえ、林地生産力の高低や傾斜の緩急といった自然条件のほか、車道等や集落からの距離といった社会的条件を勘案しつつ効率的かつ効果的に行う。さらに、森林の生物多様性の保全の観点から、野生生物の営巣、餌場、隠れ場として重要な空洞木や枯損木及び目的樹種以外の樹種であっても目的樹種の成長を妨げないものについては保残に努める。このほか、野生鳥獣による森林被害の状況に応じた施業を行う。

1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

（1）立木の伐採（主伐）の標準的な方法

主伐については、森林の有する多面的な機能の維持増進を図ることを旨とし、対象森林に関する自然条件及び社会的条件、地域における既往の施業体系、樹種の特性、木材需要構造、森林の構成等を勘案しつつ、以下を標準的な方法として実施する。

なお、伐採に当たっては、森林の有する公益的機能の発揮を確保するため、気候、地形、土壌等の自然条件を踏まえ、伐採の規模、周辺の伐採地との連たん等を十分考慮する。特に林地の崩壊の危険のある箇所、溪流沿い、尾根筋等について林地の保全や生物多様性の保全等に支障が生じないように、伐採の適否、伐採方法及び搬出方法を決定する。

ア 育成単層林施業を行う森林

人工造林、ぼう芽更新又は天然下種更新により高い林地生産力が期待される森林及び森林の有する公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林について、以下の事項に留意の上、実施する。

（ア）主伐に当たっては、自然条件及び公益的機能の確保についての必要性を踏まえ、1箇所当たりの伐採面積の規模及び伐採箇所の分散に配慮する。1箇所当たりの伐採面積の限度は、おおむね5ha以下（法令等による伐採面積の上限が5ha以下で指定されている場合にあってはその制限の範囲内）とする。ただし、分収林等の契約に基づく森林は契約内容による。また、林地保全、雪崩及び落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持等のため必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置する。

（イ）主伐の時期は、立木の標準伐期齢以上とし、地域の森林構成を踏まえ、公益的機能の発揮との調和に配慮し、木材等資源の効率的な循環・利用を考慮して、適切な林齢で伐採する。

また、伐期の長期化を行う場合は、標準伐期齢のおおむね2倍に相当する林齢を超える林齢において主伐を行う。

(ウ) 天然更新を前提とする場合には、種子の結実状況、天然稚樹の生育状況、母樹の保残等に配慮する。

イ 育成複層林施業を行う森林

人為と天然力の適切な組み合わせにより複数の樹冠層を構成する森林として成立し、森林の諸機能の維持増進が図られる森林について、以下の事項に留意の上、実施する。

なお、主伐に当たっては、複層状態の森林に確実に誘導する観点から自然条件を踏まえ、森林を構成している樹種、林分構造を勘案して行う。また、下層木の生育条件等を踏まえ、帯状の伐採等の効率的な施業の実施についても考慮する。

(ア) 複層伐による場合は、伐採率、伐採区域の形状、伐採面積の規模、伐採箇所の分散等に配慮する。

(イ) 択伐による場合は、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率及び繰り返し期間による。

(ウ) 天然更新を前提とする場合には、種子の結実状況、天然稚樹の生育状況、母樹の保残等に配慮する。

ウ 天然生林施業を行う森林

気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力を活用することにより適確な更新及び森林の諸機能の維持増進が図られる森林について、以下の事項に留意の上、実施する。

(ア) 複層伐（天然更新型）又は皆伐による場合は、伐採率、伐採区域の形状、伐採面積の規模、伐採箇所の分散等に配慮する。

(イ) 択伐による場合は、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率及び繰り返し期間による。

(ウ) 天然更新を前提とする場合には、種子の結実状況、天然稚樹の生育状況、母樹の保残等に配慮する。

(エ) 国土の保全、自然環境の保全、種の保存等のために禁伐その他の施業を行う必要のある森林については、その目的に応じて適切な施業を行う。

(2) 立木の標準伐期齢

標準伐期齢は、森林の有する公益的機能、既往の平均伐採齢及び森林の構成を勘案し、樹種ごとに平均成長量が最大となる年齢を基準として下表のとおり定める。

単位 林齢：年

地域	樹種					区域
	スギ	アカマツ	カラマツ	その他 針葉樹	広葉樹	
和賀川 上流	50	45	40	50	30	西和賀町
和賀川 上流以外	40	40	35	45	25	花巻市、北上市、奥州市、 金ケ崎町、一関市、平泉町、 遠野市

注 標準伐期齢は、流域を通じた立木の伐採（主伐）の時期に関する指標として定め、保安林の伐採規制等に用いられる。

2 造林に関する事項

(1) 人工造林に関する事項

人工造林については、公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行う。

ア 人工造林の対象樹種

人工造林における造林すべき樹種は、適地適木を旨とし、郷土樹種も考慮に入れて、気候、地形、土壌等の自然条件に適合するとともに、木材需要にも配慮した樹種を選定する。

イ 人工造林の標準的な方法

(ア) 地拵

林地の保護及び地力の維持を図るため、末木枝条の存置状況、植生、地形等に応じ、地拵を行わないことも考慮に入れつつ、適切な作業方法により効率的な実施に努める。

有用天然木の稚幼樹が群状に生育している場合は、これを育成していく。

(イ) 植付

気象条件及び苗木の生理に十分配慮しつつ、苗木の適正な管理を行うとともに、適期適作業に徹し、確実な活着と旺盛な成長が期待できるよう実施する。

なお、乾燥に強く、植栽工期を削減できる等の特性を持つコンテナ苗及び花粉症対策に資する苗木を優先して使用する。

(ウ) 植栽本数

人工造林における植栽本数は、下表を目安とするが、地位等の立地条件及び有用天然木の稚幼樹の成立状況等に応じて調整するほか、効率的な施業実施の観点からも、技術的合理性に基づき、現地の状況に応じた本数の苗木を植栽することとし、もって人工造林の低コスト化に努める。

ただし、保安林で植栽指定のある場合は、その指定本数以上とする。

なお、複層林施業については、上記の本数に複層伐の伐採率を乗じて得られる本数とする。

単位：本/ha

樹種	植栽本数
スギ	2,000～3,000
カラマツ	1,500～2,500
ヒノキ	2,500～3,000
ヒバ	1,500～3,000

ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間

公益的機能の維持、早期回復を図るため、人工造林によるものについては、原則として2年以内とする。

(2) 天然更新に関する事項

天然更新については、前生稚樹の成育状況、母樹の存在など森林の現況、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において行う。

ア 天然更新の対象樹種

天然更新補助作業の対象樹種は、アカマツ、ブナ等の有用天然木とする。

イ 天然更新の標準的な方法

更新を確保し、成林させるため、地表処理、刈出し、植込み等の更新補助作業を実施することが必要かつ適当な森林については、それぞれの森林の状況に応じた方法により、施業を行う。

また、天然更新完了確認調査において、更新完了の目途が立たないと判断される場合は、刈出し等の更新補助作業を行うなど必要な措置を講ずる。

(ア) 地表処理

ササや粗腐植の堆積等により天然更新が阻害されている箇所において、かき起こし、枝条整理等の作業を行う。

(イ) 刈出し

ササなどの下層植生により天然稚樹の生育が阻害されている箇所について行う。

(ウ) 植込み

天然稚樹等の生育状況等を勘案し、天然更新の不十分な箇所に必要な本数を植栽する。

(3) その他必要な事項

主伐後の着実な再生林を図るため、上記のほか、伐採と造林の一貫作業の導入や、成長に優れたエリートツリー等の苗木の採用等により効率的な森林施業を推進する。

3 間伐及び保育に関する事項

(1) 間伐の標準的な方法

ア 間伐の方法

間伐の方法は、列状間伐又は単木的に選木を行う定性間伐とするが、間伐の効率性や作業の安全性を考慮し、原則として列状間伐による。

イ 間伐の時期

間伐は、林冠が閉鎖して林木相互間の競争による優劣が生じた時期から行うものとするが、その目安は上層木の樹高がおおむね9 m、かつ収量比数がスギで0.60以上、アカマツで0.70以上、カラマツで0.65以上とする。

ただし、林分状況や近隣林分の間伐の実施状況等を踏まえ、間伐を実施することが適当と判断される場合は、これらの目安に満たない林分においても、間伐の実施について考慮する。

ウ 間伐の繰り返し期間

間伐の繰り返し期間の目安は、おおむね10年（ただし、カラマツにあっては8年）とするが、経過年数のみで判断せず、林冠が再び閉鎖する期間と間伐効果が成長に及ぼす期間を考慮して決定する。

エ 最終間伐の時期

主伐予定時期のおおむね10年前（ただし、カラマツにあっては8年前）とする。

オ 間伐率

材積間伐率は35%を超えないものとする。

なお、保安林指定施業要件等、法令により間伐率に制限が定められている場合は、その範囲内とする。

(2) 保育の標準的な方法

林木の保育は、健全な森林を確実に造成することを目的とし、その標準的な方法は以下のとおりとする。なお、その実施に当たっては画一性を排し、造林木の生育状況等現地の実態に即した効果的な作業の時期、回数、方法、施業の省力化等を十分検討の上、適切に行う。

ア 作業方法

(ア) 下刈

造林木の生育状況及び植生の状況等現地の実態により適切な作業方法（全刈り、筋刈り、坪刈り等）を採用し、効率的な作業を行うこととし、下刈は造林木の高さが雑草木の高さに満たない場合に実施し、造林木の高さが雑草木と同等以上の場合には作業を見合わせる。下刈終期の目安は樹種、植生の種類によって異なるが、造林木の高さが雑草木の高さを上回り、以降造林木の生育に支障がなくなると認められる時期とする。

(イ) つる切

つる類の繁茂状況により必要に応じ実施する。なお、つる類、かん木類の発生状況を勘案して極力除伐作業と同時に行う。

(ウ) 除伐

下刈の終了後、林分が閉鎖するまでの段階で有用天然木の育成に配慮しつつ、目的樹種の生育を阻害している侵入木及び将来生育の見込みのない形質不良な造林木の除去を目的として行う。

豪雪地帯においては、雪害の危険があるので造林木と侵入木の相互の配置状況を考慮し急激な疎開は避ける。

イ 作業時期

作業別の作業時期の目安は下表のとおりとする。

樹種	作業別	保育作業計画（年）															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
スギ	下刈	←—————→															
	つる切・除伐						←—————→										
アカマツ	下刈	←—————→															
	つる切・除伐						←—————→										
カラマツ	下刈	←—————→															
	つる切・除伐						←—————→										

4 公益的機能別施業森林の整備に関する事項

(1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法

公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業方法については、以下の考え方に従い、別表1（p.50 参照）のとおり定める。

ア 公益的機能別施業森林の区域

① 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

水源涵養機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、当該区域に係る地域の要請等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりを持たせて定める。ただし、狭小な区域を定めることに特別な意義を有する治山事業施工地等についてはこの限りでない。

② 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

(ア) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

山地災害防止機能／土壌保全機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、当該区域に係る地域の要請等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりを持たせて定める。ただし、狭小な区域を定めることに特別な意義を有する治山事業施工地等についてはこの限りでない。

(イ) 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

快適環境形成機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、地域住民の意向等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりを持たせて定める。

(ウ) 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、地域住民の意向等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりを持たせて定める。ただし、狭小な区域を単位として定めることに特別な意義を有する保護林、レクリエーションの森等についてはこの限りでない。

イ 公益的機能別施業森林区域内における施業の方法

① 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域内における施業の方法

当該区域内における施業の方法は、伐期の間隔の拡大とともに伐採面積の縮小・分散を図ることを基本として、下層植生の維持（育成複層林にあつては下層木の適確な生育）を図りつつ、根系の発達を確保するとともに、対象森林に関する自然条件及び

社会的条件に応じて長伐期施業、択伐による複層林施業、択伐以外の方法による複層林施業を推進する。

② 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域内における施業の方法

当該区域内における施業の方法は、それぞれの区域の機能に応じて森林の構成を維持し、樹種の多様性を増進することを基本として、長伐期施業、択伐による複層林施業、択伐以外の方法による複層林施業など、良好な自然環境の保全や快適な利用のための景観の維持・形成を目的とした施業の方法を選択する。

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道（林業専用道を含む。以下同じ。）等の開設及び改良に関する基本的な考え方

林道の開設については、森林の整備及び保全、木材の生産及び流通を効果的かつ効率的に実施するため、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮しつつ推進する。

その際、高性能林業機械開発の進展状況等も考慮しながら、「(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方」を踏まえ、林道及び森林作業道を適切に組み合わせて整備（既設路網の改良を含む。）する。

また、林道の整備については、自然条件や社会的条件が良く、将来にわたり育成単層林として維持する森林等を主体に、効率的な森林施業や木材の大量輸送等への対応の視点を踏まえて推進する。特に、林道の開設に当たっては、災害の激甚化や走行車両の大型化、未利用材の収集運搬の効率化に対応し、河川沿いを避けた尾根寄りの線形選択、余裕のある幅員や土場等の適切な設置、排水施設の適切な設置等を推進する。

また、既設林道の改築・改良に当たっては、走行車両の大型化等に対応できるよう、曲線部の拡幅や排水施設の機能強化など質的な向上を図る。

○ 基幹路網の現状

単位 延長：km		
	路線数	延長
基幹路網	246	907
うち林業専用道を含む路線	23	40

注1 基幹路網は自動車道、軽車道の計である。

注2 現状については、令和4年3月31日現在の数値である。

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方

高性能林業機械を含む機械作業システムの導入を推進するとともに、効率的な森林施業に資するため、下表に示す路網密度を目安に森林作業道と一体となった路網整備を一層推進する。

○ 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準

単位 路網密度：m/ha

	作業システム	路網密度	
			基幹路網
緩傾斜地（0°～15°）	車両系作業システム	110以上	35以上
中傾斜地（15°～30°）	車両系作業システム	85以上	25以上
	架線系作業システム	25以上	25以上
急傾斜地（30°～35°）	車両系作業システム	60〈50〉以上	15以上
	架線系作業システム	20〈15〉以上	15以上
急峻地（35°～）	架線系作業システム	5以上	5以上

注1 「車両系作業システム」とは、林内にワイヤーロープを架設せず、車両系の林業機械により林内の路網を移動しながら木材を集積、運搬するシステム。フォワーダ等を活用する。

注2 「架線系作業システム」とは、林内に架設したワイヤーロープに取り付けた搬器等を移動させて木材を吊り上げて集積するシステム。タワーヤーダ等を活用する。

注3 「急傾斜地」の〈〉は、広葉樹の導入による針広混交林化など育成複層林へ誘導する森林における路網密度である。

(3) 林産物の搬出方法等

ア 林産物の搬出方法

林産物の搬出に当たっては、地形等の条件に応じて路網と架線を適切に選択する。特に地形、地質等の条件が悪く、土砂の流出又は崩壊を引き起こすおそれがあり、森林の更新や森林の土地の保全に支障を生じる場所においては、地表を極力損傷しないよう、路網の作設を避け、架線にするなど十分配慮する。

やむを得ず路網又は架線集材のための土場の作設が必要な場合には、法面を丸太組みで支えるなどの対策を講じる。

イ 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林の所在及びその搬出方法

該当なし。

(4) その他必要な事項

林道等の開設に当たっては、民有林と連絡調整を図りつつ、公道、民有林林道の配置状況等を勘案して路網の整備に努める。

6 森林施業の合理化に関する事項

(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針

森林の流域管理システムの確立及び国有林野事業の推進を図る上で、合理的かつ効率的な事業規模、機械装備等を有し、適切な生産管理に取り組むなど経営感覚に優れた林業事業体の育成・強化が重要である。

このため、林業事業体の体質強化、高性能林業機械の開発・導入、林業労働者の就労条件の改善、労働安全衛生の確保等に関する一般林政施策の充実とあいまって、国有林野事業としても次の方策により林業事業体の経営基盤の強化を図るとともに、これらを通じて優れた林業労働者の確保に資する。

ア 事業の計画的・安定的な発注等により経営の安定化を図る。

イ 事業主への契約時における労働安全衛生対策に関する法令等遵守の指導、就労条件の改善への配慮等を行うとともに、森林施業の多様化等に対応した実行体制を確保し、よう施工管理体制の確立に関する指導や技術指導等を行う。

(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針

作業システムの高度化については、森林施業の効率化や労働災害の減少等に資する高性能林業機械の導入が重要であり、これまで国有林・民有林が連携してその普及に努めた結果、高性能林業機械を活用した作業システムへの移行は着実に広まりつつあるが、労働生産性の向上、生産コストのさらなる縮減等に向けて、普及定着の強化に努めていく必要がある。

このため、民有林関係者と連携を図りつつ、現地検討会等を通じた高性能林業機械を含む機械作業システムの指導・普及、オペレーターを養成するための研修フィールドの提供、生産性向上等に取り組むほか、路網の整備、事業規模の確保に配慮した請負事業の発注に努め、林業事業体の高性能林業機械導入の促進に寄与するよう努める。

(3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針

国有林材の安定供給システムによる販売等を通じて木材の計画的、安定的な供給や供給ロットの拡大に努め、木材の安定的取引関係の確立等による流通・加工コストの低減に寄与し、建築、土木、製紙、再生可能エネルギー等の多様な分野における需要者のニーズに即した木材製品を供給し得る体制の確立に民有林と連携しながら取り組む。

(4) その他必要な事項

森林経営管理制度の導入により、民有林において、森林の経営管理を森林所有者自らが実行できない場合には、市町村が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林については意欲と能力のある林業経営者に再委託することとなっていることから、国有林野事業としても、事業委託に際してはこうした林業経営者の受注機会の拡大に配慮するなど、意欲と能力のある林業経営者の育成に取り組むとともに、自ら森林経営を実施する市町村を支援するため、現地検討会の開催等を通じて森林・林業技術の普及や情報提供に取り組む。

第4 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

(1) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

単位 面積：ha

森 林 の 所 在		面 積	留 意 す べ き 事 項	備 考
市 町 村	区 域 (林班)			
総 数		141,953.22	1 保安林等については、指定の目的の達成に必要な施業を行う。 2 立木の伐採に当たっては、山地災害防止機能等に支障を及ぼすことのないよう留意する。 土地の形質変更は極力行わない。やむを得ず行う場合は、必要最小限の規模とし、土砂の流出の防止等の施設を設けるなど林地の保全に十分留意する。	
花 巻 市	104～106, 114～117, 501～575, 579～618, 701, 702, 706～709, 711～717, 720, 723, 725, 753～755, 757～771, 1473～1491	26,343.60		
北 上 市	1401～1472, 1492～1499, 1501～1505, 1601～1622, 1624～1626, 1628～1649, (花) 1	17,709.93		
遠 野 市	1～2, 4～9, 12, 14～26, 32, 33, 41～60, 64～72, 74～80, 82～85, 87～103, 113, 117, 118, 121, 123, 126, 201, 202, 204～210, 213, 214, 216～222, 226～236, 238～257, 260, 264～308, 341～347, 353～361, 365～373, 376, 378～392, 395～417, 419～425, 428～436, 438～449, 451～454, 721, 751, 752, 809～822, 824～840	24,612.00		
一 関 市	201～206, 215～228, 230～255, 260～270, (大) 1, (猿) 1～2, (室) 1	8,958.28		
奥 州 市	1～6, 8～16, 18～24, 27～136, (江) 1, (鹿) 1～2, (衣) 1～4	23,654.39		

単位 面積：ha

森 林 の 所 在		面 積	留 意 す べ き 事 項	備 考
市 町 村	区 域 (林班)			
西 和 賀 町	1001～1016, 1018～1030, 1032～1055, 1057, 1058, 1060～1116, 1120, 1122～1134, 1137～1141, 1143～1146, 1148～1202, 1205～1220, 1301～1348	37,623.39		
金 ヶ 崎 町	137～141, 147, 154, 156～168, 1601～1603, 1649	2,803.66		
平 泉 町	256～258, (平) 1	247.97		

注 () 書きは官行造林地で契約者等名称は下記のとおり

(花)：花巻市、(大)：大東町大原財産区、(猿)：大東町猿沢生産森林組合、
(室)：室根津谷川、(江)：江刺市種山、(鹿)：鹿合・岳山、(衣)：衣川村増沢・南股、
(平)：平泉町深山

(2) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法

単位 面積：ha

区 分	森 林 の 所 在 (林小班)	面 積	搬 出 方 法
総 数		4.28	
市町村別 内 訳	遠野市 15い3,い4	4.28	立木の伐採等による林産物の搬出方法については、地表を極力損傷しないよう、原則として架線集材による。

(3) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

土地の形質の変更に当たっては、林地の保全に十分に留意することとし、地形及び地質等の条件、土地の形質変更の目的及び内容を勘案して、実施地区の選定を行う。

土石の切取、盛土を行う場合には、法勾配の安定を図り、必要に応じて法面保護のための緑化工、土留工等の施設又は、排水施設等を設ける。

また、その他の土地の形質の変更を行う場合には、その態様に応じて土砂の流出、崩壊等の防止に必要な施設を設ける等適切な保全措置を講ずる。

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する方針

本森林計画区における森林に関する自然的条件、社会的要請及び保安林の配備状況を踏まえ、特に公益的機能の発揮が要請される森林については、保安林として適切に管理・保全していく。

また、第3の4で定める公益的機能別施業森林の区域については、その機能を十分に発揮できるように、必要に応じて保安林の指定施業要件の見直しを行う。

(2) 保安施設地区の指定に関する方針

保安施設地区については、水源の涵養^{かん}、災害の防備の目的を達成するため、森林の造成事業又は森林の造成若しくは維持に必要な事業を行う必要があると認めるときに指定する。

(3) 治山事業の実施に関する方針

治山事業については、国民の安全・安心の確保を図る観点から、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、近年、大雨や短時間豪雨の発生頻度の増加により、尾根部からの崩壊等による土砂流出量の増大、流木災害の激甚化、広域にわたる河川氾濫など災害の発生形態が変化していることを踏まえ、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、次の取組等を行う。

- ア 山地災害危険地区等における、きめ細かな治山ダムの設置等による土砂流出の抑制
- イ 森林整備や山腹斜面の筋工等の組合せによる森林土壌の保全強化
- ウ 流木捕捉式治山ダムの設置に加え、渓流域での危険木の伐採、溪流生態系にも配慮した林相転換等による流木災害リスクの軽減

こうした対策の実施に際しては、流域治水の取組と連携を図る。

これらのハード対策と併せて山地災害危険地区に係る監視体制の強化や情報提供等のソフト対策の一体的な実施、地域の避難体制との連携を図る。

(4) その他必要な事項

保安林の適切な管理を確保するため、地域住民、地方公共団体等の協力・参加が得られるよう努めるとともに、保安林台帳の調整、標識の設置、巡視及び指導の徹底を適正に行う。

また、衛星デジタル画像等を活用し、保安林の現況や規制に関連する情報の総合的な管理を推進する。

3 鳥獣害の防止に関する事項

(1) 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

ア 区域の設定

鳥獣害防止森林区域については別表2（p.53参照）のとおり定める。

イ 鳥獣害の防止の方法

森林の適確な更新及び造林木の確実な育成を図ることを旨として、地域の実情に応じて、対象鳥獣の別に、当該対象鳥獣による被害の防止に効果を有すると考えられる方法として、防護柵の設置若しくは維持管理、幼齢木保護具の設置、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリングの実施等の植栽木等の保護措置又はわな捕獲（くくりわな等によるものをいう。）による鳥獣害防止対策を推進する。その際、関係行政機関等と連携した対策を推進することとし、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携・調整に努める。

(2) その他必要な事項

該当なし。

4 森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項

(1) 森林病虫害等の被害対策の方針

森林病虫害等の被害対策については、保護樹帯の設置、適切な保育の実行等により病虫害等の森林被害に対する抵抗性の高い森林の整備に努めるとともに、被害の未然防止、早期発見及び早期駆除に努め、日常の管理を通じて適時適切に行う。

特に、松くい虫による被害については、県南部から県中部にかけて継続して被害が発生していることから、被害抑制のための健全なマツ林の整備と被害木の伐倒駆除等の防除対策の重点化を図るとともに、関係機関と連携した監視活動等の一層の推進を図る。

なお、被害対策の実施にあたっては、マツ林の機能に応じた適切な防除方法を選択して、効果的な被害対策の推進に努めることとし、被害の状況等に応じ、被害箇所の復旧及び抵抗性を有するマツ又は他樹種への転換についても考慮する。

また、ナラ枯れ被害については、被害先端地域において重点的に巡視を行い被害木の早期発見及び徹底駆除に努めるとともに、関係機関と連携の上、適切な防除対策の推進を図る。

(2) 鳥獣害対策の方針（3に掲げる事項を除く。）

3(1)アに定める鳥獣害防止森林区域内における対象鳥獣以外の鳥獣による森林被害及び鳥獣害防止森林区域外における鳥獣による森林被害について、地域の森林資源の構成、被害の動向を踏まえ、必要に応じて、3(1)イに準じた鳥獣害防止対策を推進する。

特に、ニホンジカは岩手県内のほぼ全域に生息し、本計画区では岩手県において北上山地南部地域で高密度段階、北上山地北部地域で定着段階、奥羽山脈地域が進入初期段階に位置づけられ、農業被害とともに林業被害が増加傾向にあることが確認されている。

今後、森林の有する公益的機能への影響を踏まえ、地方公共団体との連携を図りつつ、生息状況や被害の動向、地域の実情により必要に応じて、防護柵の設置若しくは維持管理、幼齢木保護具の設置、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリングの実施等の植栽木等の保護措置又はわな捕獲（くくりわな等によるものをいう。）等による被害防止対策に取り組む。

(3) 林野火災の予防の方針

山火事等の森林被害を未然に防止するため、林内歩道等の整備を図りつつ、地元住民、地方公共団体、ボランティア等との連携を図り、林野巡視、山火事警防等を適時適切に実施する。

(4) その他必要な事項

国民の森林及び林業に対する理解と関心を深めるため、森林の面積、管理状況等を勘案して、林内歩道等の整備を図るとともに、標識設置等を行う。

第5 計画量等

1 伐採立木材積

単位 材積：千m³

区 分	総 数			主 伐			間 伐		
	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹
総 数	2,661 (890)	2,150 (890)	511 (0)	913 (871)	662 (871)	251 (0)	1,749 (19)	1,488 (19)	260 (0)
前半5ヵ年の 計画量	1,253 (632)	947 (632)	306 (0)	379 (631)	202 (631)	177 (0)	874 (1)	745 (1)	129 (0)

注1 各区分、下段の（）内が契約に基づく伐採材積、上段がそれ以外の伐採材積を表す。

注2 単位未満を四捨五入するため、総数と内訳の合計は必ずしも合致しない。

2 間伐面積

単位 面積：ha

区 分	間伐面積
総 数	24,658
前半5ヵ年の計画量	11,906

3 人工造林及び天然更新別の造林面積

単位 面積：ha

区 分	人工造林	天然更新
総 数	3,576	1,500
前半5ヵ年の計画面積	1,529	653

4 林道の開設又は拡張に関する計画

単位 延長：km 面積：ha

開設／拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長	利用 区域 面積	前半5ヵ年 の計画箇所	対 図 番 号	備考	
開設	自動車道	林業 専用道	花巻市	上山口支線	2.0	151	○	1		
				石倉沢	1.4	198	○	2		
				大沢山	1.1	124	○	3		
				小又沢	2.5	137		4		
				本田	2.5	264		5		
				五輪	3.5	264	○	10	うち2.8 km後期	
			小計	6 路線	13.0					
			遠野市	南沢	1.0	185	○	6		
				二枚橋沢	1.7	169	○	7		
				長舌支線	1.4	189	○	8		
				猿ヶ石川	1.7	142	○	9	うち0.7 km後期	
				夕日山	2.5	177	○	11		
				金森沢	1.0	152	○	12		
				西ノ沢	1.2	318	○	13	うち0.5 km後期	
				小烏瀬川	1.6	265		14		
				下恩徳支線	0.7	216		15		
				長舌	1.4	104		16		
				西股支線	1.2	371		17		
				東一榎	0.7	113		18		
				高清水	1.0	53		19		
				小計	14 路線	20.6				
			一関市	トミタケ	1.0	69	○	20		
				鬼深沢	0.4	151	○	21		
				鬼頭第二	0.2	77	○	22		
			小計	3 路線	1.6					
			奥州市	高桧能	1.9	148	○	23		
				サムライ	2.1	197	○	24	うち0.9 km後期	
				刑菅	0.8	156		25		
				大沢	1.2	175		26		
			小計	4 路線	6.0					
			西和賀町	ゴミ	2.0	206	○	27		
			小計	1 路線	2.0					
金ヶ崎町	カツクエ沼	1.5	204		28					
	小計	1 路線	1.5							
合計				28 路線	41.2					
	前半5ヵ年の計画量			17 路線	21.2					

単位 延長：km 面積：ha

開設 ／ 拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長	利用 区域 面積	前半5ヵ年の 計画箇所	対 図 番 号	備考	
拡張	自動 車道 (改良)	林道	花巻市	上山口	0.1		○			
				沢山沢	0.7		○			
				里美	0.0		○			
				久出内	0.1					
			小計	4 路線	0.9					
			北上市	鈴嶋	0.1		○			
				南鱒沢	0.1		○			
			小計	2 路線	0.2					
			遠野市	六角牛	0.1		○			
				奥不動	0.0		○			
				砂子沢	0.0		○			
			小計	3 路線	0.1					
			一関市	鬼頭	0.1		○			
				鬼頭支線	0.1		○			
			小計	2 路線	0.1					
			奥州市	高桧能	0.1		○			
小計	1 路線	0.1								
合計				12 路線	1.4					
	前半5ヵ年の計画量			11 路線	1.4					

注1 単位未満を四捨五入するため、総数と内訳の合計は必ずしも合致しない。

注2 「0.0」は0.05km未満。

5 保安林の整備及び治山事業に関する計画

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

① 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

単位 面積：ha

保安林の種類	面積		備考
		前半5カ年の 計画面積	
総数（実面積）	141,277.83	141,277.83	
水源涵養のための保安林	133,937.06	133,937.06	
災害防備のための保安林	7,315.69	7,315.69	
保健、風致の保存等のための保安林	3,397.90	3,397.90	

注 総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、水源涵養のための保安林等の内訳の合計に合致しない。

② 計画期間内において保安の指定又は解除を相当とする森林の種類別の所在及び面積等

単位 面積：ha

指定 / 解除	種類	森林の所在		面積		指定又は解除を 必要とする理由
		市町村	区域(林班)		前半5カ年の 計画面積	
解除	総数			0.48	0.48	
	水源涵養	花巻市	575	0.02	0.02	公益上の理由
	水源涵養	西和賀町	1010	0.26	0.26	公益上の理由
	災害の防備	西和賀町	1008	0.20	0.20	公益上の理由
指定	総数			389.18	389.18	
	水源涵養	遠野市	30、31	389.18	389.18	指定

③ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積

単位 面積：ha

	指定施業要件の整備区分				
	伐採方法の変更	皆伐面積の変更	択伐率の変更	間伐率の変更	植栽の変更
水源涵養			130.34	130.34	130.34
計	0	0	130.34	130.34	130.34

(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等

該当なし。

(3) 実施すべき治山事業の数量

単位 地区

森林の所在		治山事業施工地区数		主な工種	備考
市町村	区 域	前半5ヵ年の計画			
花巻市	105, 502, 505, 509, 510, 513, 514, 515, 516, 517, 522, 524, 532, 533, 539, 540, 550, 551, 565, 566, 569, 570, 571, 572, 573, 587, 598, 600, 616, 712, 758, 760, 762, 764, 766, 768, 771, 1477	38	26	溪間工 山腹工 本数調整伐	
北上市	1411, 1418, 1420, 1602, 1604, 1605, 1606, 1612, 1615, 1616, 1617, 1621, 1625, 1628, 1629, 1631, 1637, 1638, 1648, 1649	20	13	溪間工 山腹工 本数調整伐	
遠野市	5, 6, 7, 15, 17, 20, 21, 22, 30, 31, 43, 55, 56, 69, 70, 72, 88, 92, 99, 103, 118, 201, 202, 234, 245, 397, 399, 430, 441, 751, 752, 809, 811, 812, 821, 824, 825, 827, 833, 838	40	28	溪間工 本数調整伐	
一関市	201, 204, 205, 206, 218, 223, 226, 230, 231, 232, 234, 238, 240, 241, 242, 243, 245, 250, 253, 268	20	15	溪間工 山腹工 本数調整伐	
奥州市	8, 9, 10, 16, 24, 58, 64, 65, 66, 67, 74, 75, 78, 79, 86, 119, 121, 122, 123, 124, 125, 126	22	17	溪間工 山腹工 本数調整伐	
西和賀町	1008, 1021, 1027, 1044, 1114, 1125, 1134, 1138, 1144, 1166, 1170, 1174, 1187, 1190, 1200, 1201, 1202, 1212, 1215, 1327	20	13	溪間工 山腹工 本数調整伐	

単位 地区

森林の所在		治山事業施行地区数		主な工種	備考
市町村	区域		前半5カ年の計画		
金ヶ崎町	161, 162, 167, 1601, 1602, 1603, 1649	7	7	溪間工 山腹工 本数調整伐	
平泉町	257, 258	2	2	本数調整伐	
合計		169	121		

第6 その他必要な事項

○ 保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域 (林班)				
水かん	花巻市	104～106, 114～117, 501～575, 579～618, 701, 702, 706～709, 711～717, 720, 723, 725, 753～755, 757～771, 1473～1491	26,176.12	別紙1のとおり	保健	903.80
					砂指	65.18
					定特保	268.75
					定特1	240.22
				定特2	451.88	
				定特3	637.16	
				県特3	71.07	
				鳥保特	388.69	
				特史跡	499.50	
				鳥防森	26,176.12	
	北上市	1401～1472, 1492～1499, 1501～1505, 1601～1607, 1611～1618, 1624～1626, 1628～1635, 1637～1647, 1649	15,143.97		砂指	16.88
					定特1	63.56
					定特2	82.61
					定特3	161.79
	遠野市	1, 2, 23, 25, 26, 42～60, 64～72, 74～80, 82～85, 87～103, 113, 117, 118, 126, 201, 202, 204～210, 213, 214, 216～222, 226～236, 238～257, 264～308, 341～347, 353～361, 365～373, 376, 378～392, 395～417, 419～425, 428～436, 438～449, 451～454, 751, 752, 809～822, 824～840	21,890.42		保健	36.91
					砂指	23.90
					定特保	67.66
					定特1	397.96
					定特2	19.48
					定特3	966.90
					鳥保特	485.10
					特史跡	701.61
					鳥防森	21,890.42
	一関市	201～206, 216～221, 223～228, 230～255, 260～270, (大)1, (猿)1～2, (室)1	8,661.73		砂指	34.55
					定特保	246.78
					定特1	879.04
					定特2	1,389.72
					定特3	1,487.92
					鳥保特	1,125.82

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域(林班)				
水かん	奥州市	1～3, 5, 6, 8～12, 16, 18, 19, 24, 27～136, (江)1, (胆)1～2, (衣)1～4	22,909.80	別紙1のとおり	保健	260.84
					砂指	42.41
					定特1	2,851.49
					定特2	1,538.27
					定特3	1,583.20
				史名天	0.34	
				県史跡	12.19	
				鳥防森	109.79	
	西和賀町	1001～1016, 1018～1030, 1032～1055, 1057, 1058, 1060～1116, 1120, 1122～1134, 1137～1141, 1143～1146, 1148～1202, 1205～1220, 1301～1348	36,064.08		砂指	291.91
					定特1	61.57
					県特2	107.39
					自環特	1,450.51
	金ヶ崎町	137～141, 147, 154, 156～163, 166～168, 1601～1603, 1649	2,558.35		保健	565.75
					定特1	376.43
					定特3	291.62
	平泉町	256～258	215.76			
	小計		133,620.23			
土流	北上市	1604～1610, 1619～1622, 1629, 1630, 1635, 1636, 1649, (花)1	2,297.78		保健	1,595.66
					砂指	2.53
					定特1	840.39
					定特2	106.98
					定特3	848.29
	遠野市	4～9, 12, 14～22, 24, 121, 123, 126, 260	2,466.13		定特保	20.05
					定特1	58.28
					定特2	22.38
					鳥保特	100.71
					特史跡	100.71
					市史跡	0.22
					鳥防森	2,466.13
	一関市	222, 223	168.82			

単位 面積 : ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域 (林班)				
土 流	奥州市	3, 4, 13~15, 20~24, 120, 124, 126	575.38	別紙1 のとお り	定特3	4.67
	西和賀町	1320, 1321, 1323~1325	1,187.16		定特1	1,187.16
	金ヶ崎町	164, 165	214.74			
	小計		6,910.01			
土 崩	花巻市	558	11.87		鳥防森	11.87
	北上市	1452, 1648	135.14			
	一関市	205, 222, 247~249, 251, 252	29.84		砂 指	1.05
	奥州市	16, 125	30.01		風 致	9.96
	西和賀町	1007, 1008	155.08		定特2	20.05
	小計		361.94		県特2	40.25
なだれ	西和賀町	1016	3.85		県特2	3.85
	小計		3.85			
干 害	平泉町	(平)1	30.38			
	小計		30.38			
保 健	花巻市	546, 547, 549, 767~771	903.80		水かん	903.80
					定特保	255.52
					定特1	161.19
					鳥保特	296.43
					特史跡	384.93
					鳥防森	903.80
	北上市	1608~1610, 1619~1622	1,595.66		土 流	1,595.66
					定特1	799.55
					定特2	96.49
				定特3	699.62	
遠野市	35, 126	43.28		水かん	36.91	
				定特保	36.91	
				鳥保特	36.91	
				特名天	36.91	
				鳥防森	43.28	

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)		
	市町村	区域 (林班)					
保 健	奥州市	129	260.84	別紙1の とおり	水かん	260.84	
					定特1	215.15	
	金ヶ崎町	139~141	565.75		水かん	565.75	
					定特1	331.15	
	小計		3,369.33			定特3	234.60
風 致	一関市	216	18.72				
	奥州市	16	9.96		土 崩	9.96	
	小計		28.68				
計			144,324.42				
砂 指	花巻市	501, 505, 513, 515, 521, 534~536, 538, 541, 590~593, 597~599, 602, 605, 612, 613, 765, 766, 1476, 1477, 1485, 1486	68.28	別紙3の とおり	水かん	65.18	
					鳥防森	68.28	
	北上市	1602, 1604, 1612, 1628, 1629, 1635, 1642, 1644, 1646, 1649	20.77		水かん	16.88	
					土 流	2.53	
	遠野市	4, 12, 15, 23, 24, 32, 33, 46, 47, 53, 55, 71, 72, 82~84, 92, 96, 99, 213, 216, 218, 220, 232, 233, 398, 404, 406, 424, 441, 442, 811, 820	60.75		水かん	23.90	
					鳥防森	60.75	
	一関市	218~221, 232, 233, 235, 236, 239, 242~247, 251, 264, 266	59.76		水かん	34.55	
					土 崩	1.05	
			定特2	16.80			
			定特3	16.30			
奥州市	90~92, 102, 106, 110~117	42.73	水かん	42.41			
			定特2	26.44			
			定特3	2.40			
西和賀町	1038~1040, 1057, 1060, 1061, 1072, 1074, 1081, 1111, 1134, 1138, 1143, 1144, 1148~1150, 1154, 1160, 1161, 1165, 1168~1170, 1175, 1185, 1190, 1194, 1213~1215, 1218, 1301	296.98	水かん	291.91			
金ヶ崎町	158, 159, 161, 165	14.49					

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域 (林班)				
計			563.76			
定特保	花巻市	764, 770, 771	268.75	別紙2のとおり	水かん	268.75
					保 健	255.52
					鳥保特	268.75
					特史跡	268.75
		鳥防森	268.75			
	遠野市	94, 98, 126	87.71		水かん	67.66
					土 流	20.05
					保 健	36.91
					鳥保特	87.71
					特史跡	87.71
					鳥防森	87.71
	一関市	241	246.79		水かん	246.78
					鳥保特	246.79
	小計		603.25			
定特1	花巻市	764, 767~769, 771	240.22		水かん	240.22
					保 健	161.19
					鳥保特	119.94
					特史跡	208.44
				鳥防森	240.22	
	北上市	1601, 1603, 1606, 1607, 1609, 1610, 1618~1622	903.95		水かん	63.56
					土 流	840.39
					保 健	799.55
	遠野市	94, 98, 126	456.24		水かん	397.96
					土 流	58.28
					鳥保特	456.24
					特史跡	456.24
					鳥防森	456.24
	一関市	230, 231, 235, 238, 240, 241, 246	879.09		水かん	879.04
					鳥保特	879.09

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)
	市町村	区域 (林班)			
定特1	奥州市	70, 71, 105~116, 127, 129, 130	2,947.69	別紙2のとおり	水かん 2,851.49 保 健 215.15
	西和賀町	1309, 1311, 1313, 1320, 1321, 1323~1325	1,248.73		水かん 61.57 土 流 1,187.16
	金ヶ崎町	139~141, 1601	376.43		水かん 376.43 保 健 331.15
	小計		7,052.35		
定特2	花巻市	764, 767~771	452.50		水かん 451.88 特史跡 22.31 鳥防森 452.50
	北上市	1603, 1606~1608, 1617, 1618, 1620, 1621	194.80		水かん 82.61 土 流 106.98 保 健 96.49
	遠野市	126	41.86		水かん 19.48 土 流 22.38 鳥保特 41.86 特史跡 41.86 鳥防森 41.86
	一関市	230, 231, 235, 236, 238, 240, 241, 243, 246	1,395.65		水かん 1,389.72 砂 指 16.80
	奥州市	54, 70, 71, 102~106, 108~117, 125	1,595.91		水かん 1,538.27 土 崩 20.05 砂 指 26.44
	小計		3,680.72		
	定特3	花巻市	762~764, 767~771		637.25
北上市	1603, 1605~1610, 1618~1621	1,014.04	水かん 161.79 土 流 848.29 保 健 699.62 特史跡 2.34		

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域(林班)				
定特3	遠野市	91~95, 97, 98	966.93	別紙2の とおり	水かん	966.90
					特史跡	216.51
					鳥防森	966.93
	一関市	235~240, 243~245	1,503.69		水かん	1,487.92
					砂指	16.30
	奥州市	105~113, 116, 120, 122, 130	1,592.61		水かん	1,583.20
			土流	4.67		
			砂指	2.40		
	金ヶ崎町	139~141, 1603	294.72	水かん	291.62	
				保健	234.60	
	小計		6,009.24			
計			17,345.56			
県特2	西和賀町	1003, 1007, 1008, 1010, 1016, 1301, 1303, 1342, 1344, 1345	156.69	別紙3の とおり	水かん	107.39
					土崩	40.25
					なだれ	3.85
	小計		156.69			
県特3	花巻市	533~535, 537, 538, 541, 544, 564, 566~568	77.06		水かん	71.07
					鳥防森	77.06
	小計		77.06			
計			233.75			
自環特	西和賀町	1182~1184, 1188, 1189	1,450.51	別紙3の とおり	水かん	1,450.51
計			1,450.51			
県環特	遠野市	49~51	17.00		鳥防森	17.00
計			17.00			
鳥保特	花巻市	764, 769~771	388.69		水かん	388.69
					保健	296.43
					定特保	268.75
					定特1	119.94
					特史跡	388.69
					鳥防森	388.69

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域 (林班)				
鳥保特	遠野市	94, 98, 126	585.81	別紙3のとおり	水かん	485.10
					土流	100.71
					保健	36.91
					定特保	87.71
					定特1	456.24
					定特2	41.86
					特史跡	585.81
					鳥防森	585.81
	一関市	230, 231, 235, 238, 240, 241, 246	1,125.88		水かん	1,125.82
					定特保	246.79
					定特1	879.09
計			2,100.38			
史名天	奥州市	51	0.34		水かん	0.34
					鳥防森	0.34
計			0.34			
特史跡	花巻市	764, 768~771	499.50		水かん	499.50
					保健	384.93
					定特保	268.75
				定特1	208.44	
				定特2	22.31	
				鳥保特	388.69	
				鳥防森	499.50	
	北上市	1608, 1609	2.34		定特3	2.34
	遠野市	94, 98~126	802.32		水かん	701.61
					土流	100.71
					保健	36.91
					定特保	87.71
					定特1	456.24
					定特2	41.86
					定特3	216.51
					鳥保特	585.81
					鳥防森	802.32

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)	
	市町村	区域 (林班)				
計			1,304.16	別紙3の とおり		
特母樹	一関市	260	3.78			
計			3.78			
県史跡	奥州市	53, 54, 117, 118	14.90			水かん 12.19
計			14.90			
市史跡	遠野市	9	0.22			土流 0.22 鳥防森 0.22
計			0.22			
鳥防森	花巻市	104~106, 114~117, 120, 501~575, 579~618, 701~717, 720, 723, 725, 753~755, 757~771, 1473~1491	27,268.46			水かん 26,176.12 土崩 11.87 保健 903.80 砂指 68.28 定特保 268.75 定特1 240.22 定特2 452.50 定特3 637.25 県特3 77.06 鳥保特 388.69 特史跡 499.50
	遠野市	1, 2, 4~9, 12, 14~27, 29~60, 64~72, 74~80, 82~85, 87~103, 108, 110, 111, 113, 117~126, 201, 202, 204~210, 213, 214, 216~222, 226~236, 238~257, 260, 264~308, 341~347, 353~361, 365~373, 376, 378~392, 395~417, 419~425, 428~436, 438~449, 451~454, 718, 719, 721, 722, 724, 751, 752, 809~822, 824~840, (外)2	28,720.32			水かん 21,890.42 土流 2,466.13 保健 43.28 砂指 60.75 定特保 87.71 定特1 456.24 定特2 41.86 定特3 966.93 県環特 17.00 鳥保特 585.81 特史跡 802.32 市史跡 0.22

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	備考 (重複制限林)
	市町村	区域(林班)			
鳥防森	奥州市	51	116.37	別紙3のとおり	水かん 109.79
					史名天 0.34
計			56,105.15		

注1 種類及び備考欄の重複制限林の略称は、以下のとおり。

水かん＝水源かん養保安林	県特2＝県立自然公園第2種特別地域
土流＝土砂流出防備保安林	県特3＝県立自然公園第3種特別地域
土崩＝土砂崩壊防備保安林	自環特＝自然環境保全地域特別地区
なだれ＝なだれ防止保安林	県環特＝県自然環境保全地域特別地区
干害＝干害防備保安林	鳥保特＝鳥獣保護区特別保護地区
保健＝保健保安林	史名天＝史跡名勝天然記念物
風致＝風致保安林	特史跡＝特別史跡名勝天然記念物
砂指＝砂防指定地	特母樹＝特別母樹林
定特保＝国定公園特別保護地区	県史跡＝県条例に基づく史跡名勝天然記念物
定特1＝国定公園第1種特別地域	市史跡＝市条例に基づく史跡名勝天然記念物
定特2＝国定公園第2種特別地域	鳥防森＝鳥獣害防止森林区域
定特3＝国定公園第3種特別地域	

注2 () 書きは官行造林地で契約者等名称は以下のとおり。

(大)：大東町大原財産区、(猿)：大東町猿沢生産森林組合、(室)：室根村津谷川・大森
 (江)：江刺市種山、(胆)：胆沢町、(衣)：衣川村増沢・南股、(花)：花巻市、(平)：平泉町深山、
 (外)：外野牧野農業協同組合

注3 保安林の計(実面積)は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、水源かん養保安林等の内訳の合計に合致しない。

別紙1 保安林の指定施業要件

事 項	基 準
<p>1 伐採の方法</p>	<p>1 主伐に係るもの</p> <p>(1) 水源の涵養又は風害、干害若しくは霧害の防備をその指定の目的とする保安林にあっては、原則として、伐採種の指定をしない。</p> <p>(2) 土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備、飛砂の防備、水害、潮害若しくは雪害の防備、魚つき、航行の目標の保存、公衆の保健又は名所若しくは旧跡の風致の保存をその指定の目的とする保安林にあっては、原則として、択伐による。</p> <p>(3) なだれ若しくは落石の危険の防止若しくは火災の防備をその指定の目的とする保安林又は保安施設地区内の森林にあっては、原則として、伐採を禁止する。</p> <p>(4) 伐採の禁止を受けない森林につき伐採をすることができる立木は、原則として、標準伐期齢以上のものとする。</p> <p>2 間伐に係るもの</p> <p>(1) 主伐に係る伐採の禁止を受けない森林にあっては、伐採をすることができる箇所は、原則として、農林水産省令で定めるところにより算出される樹冠疎密度が10分の8以上の箇所とする。</p> <p>(2) 主伐に係る伐採の禁止を受ける森林にあっては、原則として、伐採を禁止する。</p>
<p>2 伐採の限度</p>	<p>1 主伐に係るもの</p> <p>(1) 同一の単位とされる保安林等において伐採年度ごとに皆伐による伐採をすることができる面積の合計は、原則として、当該同一の単位とされる保安林等のうちこれに係る伐採の方法として択伐が指定されている森林及び主伐に係る伐採の禁止を受けている森林以外のものの面積の合計に相当する数を、農林水産省令で定めるところにより、当該指定の目的を達成するため相当と認められる樹種につき当該指定施業要件を定める者が標準伐期齢を基準として定める伐期齢に相当する数で除して得た数に相当する面積を超えないものとする。</p> <p>(2) 地形、気象、土壌等の状況により特に保安機能の維持又は強化を図る必要がある森林については、伐採年度ごとに皆伐による伐採をすることができる1箇所当たりの面積の限度は、農林水産省令で定めるところによりその保安機能の維持又は強化を図る必要の程度に応じ当該指定施業要件を定める者が指定する面積とする。</p> <p>(3) 風害又は霧害の防備をその指定の目的とする保安林における皆伐による伐採は、原則としてその保安林のうちその立木の全部又は相当部分がおおむね標準伐期齢以上である部分が幅20メートル以上にわたり帯状に残存することとなるようにするものとする。</p>

事 項	基 準
2 伐採の限度	<p>(4) 伐採年度ごとに択伐による伐採をすることができる立木の材積は、原則として、当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積に相当する数に農林水産省令で定めるところにより算出される択伐率を乗じて得た数に相当する材積を超えないものとする。</p> <p>2 間伐に係るもの 伐採年度ごとに伐採をすることができる立木の材積は、原則として、当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積の10分の3.5を超えず、かつ、その伐採によりその森林に係る第1号2(1)の樹冠疎密度が10分の8を下ったとしても当該伐採年度の翌伐採年度の初日から起算しておおむね5年後においてその森林の当該樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内の材積を超えないものとする。</p>
3 植 栽	<p>1 方法に係るもの 満1年以上の苗を、おおむね、1ヘクタール当たり伐採跡地につき的確な更新を図るために必要なものとして農林水産省令で定める植栽本数以上の割合で均等に分布するように植栽するものとする。</p> <p>2 期間に係るもの 伐採が終了した日を含む伐採年度の翌伐採年度の初日から起算して2年以内に植栽するものとする。</p> <p>3 樹種に係るもの 保安機能の維持又は強化を図り、かつ、経済的利用に資することができる樹種として指定施業要件を定める者が指定する樹種を植栽するものとする。</p>

別紙2 自然公園における施業の方法

区 分	施 業 の 方 法
特 別 保護地区	森林の施業に関する制限について、環境大臣はそれぞれの地区につき農林水産大臣と協議して定めるものとする。
第 1 種 特別地域	<p>1 禁伐とする。ただし、風致維持に支障のない場合に限り単木択伐法を行うことができる。</p> <p>2 単木択伐法は、次の規定により行う。</p> <p>(1) 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢に10年以上を加えて決定する。</p> <p>(2) 択伐率は、現在蓄積の10%以内とする。</p>
第 2 種 特別地域	<p>1 択伐法によるものとする。ただし、風致の維持に支障のない限り、皆伐法によることができる。</p> <p>2 公園計画に基づく車道、歩道、集団施設地区及び単独施設の周辺（造林地、要改良林分、薪炭林を除く）は、原則として単木択伐法によるものとする。</p> <p>3 伐期齢は標準伐期齢に見合う年齢以上とする。</p> <p>4 択伐率は用材林においては、現在蓄積の30%以内とし、薪炭林においては、60%以内とする。</p> <p>5 伐採及び更新に際し、特に風致上必要と認める場合は、環境省自然環境局長及び県知事は、伐区、樹種、林型の変更を要望することができる。</p> <p>6 特に指定した風致樹については、保育及び保護に努めること。</p> <p>7 皆伐法による場合その伐区は次のとおりとする。</p> <p>(1) 1伐区の面積は2ヘクタール以内とする。ただし、疎密度3より多く保残木を残す場合又は車道、歩道、集団施設地区、単独施設等の主要公園利用地点から望見されない場合は、伐区面積を増大することができる。</p> <p>(2) 伐区は更新後5年以上経過しなければ連続して設定することはできない。この場合においても、伐区はつとめて分散させなければならない。</p>
第 3 種 特別地域	全般的な風致の維持を考慮して施業を実施し、特に施業の制限を受けないものとする。

別紙3 砂防指定地等の施業方法

区 分	施 業 の 方 法
砂防指定地	「砂防法施行条例」（平成11年12月17日岩手県条例第73号）で定めるところによる。
自然環境保全地域 特別地区	「自然環境保全地域の特別地区内における木竹の伐採の方法及びその限度」に関する覚書（昭和49年10月9日49林野計第405号）による。
県自然環境保全地域 特別地区	「岩手県自然環境保全条例」（昭和48年12月25日岩手県条例第62号）で定めるところによる。
鳥獣保護区 特別保護地区	「鳥獣保護区内の森林施業について」（昭和39年1月17日38林野計第1043号）による。
史跡名勝天然記念物	文化財保護法（昭和25年法律第214号）で定めるところによる。
特別史跡名勝 天然記念物	「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）で定めるところによる。
特別母樹林	「林業種苗法」（昭和45年法律第89号）による。
県条例史跡名勝 天然記念物	「岩手県文化財保護条例」（昭和51年3月26日岩手県条例第44号）で定めるところによる。
市条例史跡名勝 天然記念物	「遠野市文化財保護条例」（平成17年10月1日遠野市条例第93号）で定めるところによる。
鳥獣害防止森林区域	「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について」（平成28年10月20日28林整研第180号）による。

計画事項の別表

別表1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業方法

(1) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積:ha

区分	森林の所在 (林班)	面積	施業方法	
総数		148,804.20		
市町村別内訳	花巻市	104～106, 114～117, 120, 501～575, 579～618, 701～717, 720, 723, 725, 753～755, 757～771, 1473～1491	27,268.46	伐期の延長 長伐期施業 複層林施業 (択伐) (択伐以外)
	北上市	1401～1472, 1492～1499, 1501～1505, 1601～1622, 1624～1626, 1628～1649	17,834.01	
	遠野市	1, 2, 4～9, 12, 14～27, 29～60, 64～72, 74～80, 82～85, 87～103, 108, 110, 111, 113, 117～126, 201, 202, 204～210, 213, 214, 216～222, 226～236, 238～257, 260, 264～308, 341～347, 353～361, 365～373, 376, 378～392, 395～417, 419～425, 428～436, 438～449, 451～454, 718, 719, 721, 722, 724, 751, 752, 809～822, 824～840	28,674.04	
	一関市	201～206, 214～228, 230～255, 260～270	9,480.79	
	奥州市	1～6, 8～16, 18～24, 27～136	23,282.67	
	西和賀町	1001～1030, 1032～1116, 1120, 1122～1134, 1137～1141, 1143～1146, 1148～1220, 1301～1348	39,054.38	
	金ケ崎町	137～141, 147, 154, 156～168, 1601～1603, 1649	2,867.62	
	平泉町	256～259	342.23	

注 森林の所在の詳細(林小班)については、東北森林管理局計画課に備え置く別冊で表示する。

(2) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

① 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積:ha

区分	森林の所在 (林班)	面積	施業方法	
総数		23,656.05		
市 町 村 別 内 訳	花巻市	501～503, 505～508, 510, 513, 515, 521, 523～525, 529, 531～538, 541, 543, 546～548, 552, 553, 558～560, 565～567, 572, 581, 583, 590～593, 597～599, 602, 605, 613～616, 703～705, 714, 720, 758, 763, 765～771, 1476～1478, 1482～1486, 1488, 1489	2,502.11	伐期の延長 長伐期施業 複層林施業 (択伐) (択伐以外)
	北上市	1402～1405, 1407, 1411～1413, 1416, 1418～1428, 1431, 1432, 1436～1438, 1440, 1441, 1452, 1454～1456, 1458～1460, 1463～1471, 1498, 1503, 1504, 1602, 1604～1613, 1617～1622, 1628～1636, 1638, 1639, 1642～1649	5,489.75	
	遠野市	4～9, 12, 14～24, 32～34, 36, 38～40, 44, 46, 47, 53, 55, 58, 71, 72, 82～84, 92, 94, 96, 99, 121, 123, 124, 126, 202, 213, 216, 218, 220, 232, 233, 260, 304～306, 373, 378, 379, 381, 382, 398, 404, 406, 424, 428, 430, 441, 442, 448, 719, 721, 722, 811, 812, 820, 821, 825, 836	3,329.21	
	一関市	205, 215, 218～225, 227, 232～236, 238, 239, 242～253, 264, 266	463.33	
	奥州市	2～4, 13～16, 20～24, 53, 54, 62, 63, 73～75, 78, 79, 90～92, 102, 104, 106, 110～117, 119～121, 124～126	1,091.44	
	西和賀町	1001～1005, 1007, 1008, 1012～1016, 1018, 1019, 1027, 1036, 1038～1040, 1057, 1058, 1060, 1061, 1072, 1074, 1076, 1078, 1080, 1081, 1088, 1111, 1129, 1130, 1132～1134, 1137 ～1139, 1143, 1144, 1148～1158, 1160, 1161, 1163, 1165～1172, 1174～1181, 1184～1187, 1190, 1192, 1194, 1196, 1212～1218, 1220, 1301, 1305～1310, 1312, 1315, 1317, 1318, 1320～1338, 1340～1343, 1346	10,540.65	
	金ケ崎町	157～159, 161, 164, 165, 167, 168	239.56	

注 森林の所在の詳細(林小班)については、東北森林管理局計画課に備え置く別冊で表示する。

② 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

該当なし。

③ 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積:ha

区分	森林の所在 (林班)	面積	施業方法	
総数		38,652.27		
市町村別内訳	花巻市	104～106, 504, 507, 508, 523, 531～533, 535, 536, 539, 540, 542, 543, 545～549, 553～555, 564, 566, 567, 582～584, 589, 594, 757～764, 766～771, 1477, 1480, 1483, 1484, 1487	5,542.08	伐期の延長 長伐期施業 複層林施業 (択伐) (択伐以外)
	北上市	1402～1408, 1411～1415, 1434, 1435, 1460～1463, 1502, 1503, 1601, 1603, 1604, 1606～1610, 1612～1622, 1633, 1640	2,911.22	
	遠野市	23～26, 35, 42, 46～51, 57, 59, 60, 72, 74, 75, 83, 85, 88～95, 97～103, 108, 110, 111, 113, 126, 202, 213, 229, 253～257, 286～290, 343, 345, 346, 366, 415～417, 419, 809	4,841.15	
	一関市	216, 230, 231, 233～246, 248～250, 260	4,296.31	
	奥州市	1, 16, 18, 19, 24, 53, 54, 70～72, 74, 76, 77, 80, 85, 90～119, 121～124, 126～130	11,896.97	
	西和賀町	1003, 1007～1012, 1014, 1016, 1018, 1020, 1026, 1088, 1109, 1125～1128, 1140, 1141, 1145, 1146, 1148, 1149, 1151～1153, 1159, 1167, 1175～1184, 1188, 1189, 1192, 1196, 1201, 1202, 1207, 1213～1220, 1301～1304, 1306～1309, 1311～1314, 1316, 1319～1325, 1330, 1331, 1342, 1344, 1345, 1348	8,324.27	
	金ケ崎町	138～141, 160, 161, 163, 1601～1603	840.27	

注 森林の所在の詳細(林小班)については、東北森林管理局計画課に備え置く別冊で表示する。

別表2 鳥獣害防止森林区域

単位 面積：ha

区分		対象鳥獣の種類	森林の区域（林班）	面積
総数				56105.15
市町村別内訳	花巻市	ニホンジカ	全域	27268.46
	遠野市	ニホンジカ	全域	28720.32
	奥州市	ニホンジカ	51	116.37

(附) 參考資料

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積：ha 比率：%

区 分	区域面積 ①	森林面積			森林比率 ②／①×100
		総数②	国有林	民有林	
総数	525,552	352,682	150,365	202,317	67%
花巻市	90,839	59,317	27,268	32,049	65%
北上市	43,755	24,784	17,898	6,886	57%
遠野市	82,597	67,437	28,720	38,717	82%
一関市	125,642	79,317	10,092	69,225	63%
奥州市	99,330	58,531	24,068	34,463	59%
西和賀町	59,074	53,013	39,077	13,936	90%
金ヶ崎町	17,976	7,214	2,868	4,346	40%
平泉町	6,339	3,068	373	2,695	48%

注1 区域面積は、国土地理院「令和4年全国都道府県市区町村別面積調」による。

2 森林面積は、国有林（林野庁所管）、民有林とも森林計画対象森林面積を計上。国有林には官行造林地を含む。

3 単位未満を四捨五入するため、総数と内訳の合計は必ずしも合致しない。

(2) 地況（気候）

単位 気温：℃ 降水量：mm 積雪量：cm

観測地	気 温			年間降水量	最深積雪量	備 考
	最 高	最 低	年平均			
大迫	36.4	-16.3	10.8	1,169	-	
遠野	35.1	-22.3	9.8	1,163	37	
千厩	36.4	-16.9	10.9	1,134	-	
花巻	36.6	-17.5	11.0	1,304	-	
北上	37.0	-14.7	11.7	1,378	57	
江刺	37.3	-18.3	11.7	1,211	-	
若柳	36.9	-19.9	11.0	1,286	-	
一関	38.0	-13.4	12.0	1,191	45	
沢内	34.1	-22.1	8.7	2,186	-	
湯田	34.9	-17.9	9.3	2,075	279	

資料 気象庁（2012～2021年）による。

注1 気温の年平均及び年間降水量は2012～2021年までの10カ年平均。

2 「-」はデータなし。

(3) 土地利用の現況

単位 面積：ha

区 分	総 数	森 林	農 地			その他
			総 数	うち田	うち畑	
総数	525,552	352,682	78,250	61,370	16,814	
花巻市	90,839	59,317	15,800	13,600	2,190	
北上市	43,755	24,784	9,070	8,380	688	
遠野市	82,597	67,437	7,050	3,920	3,130	
一関市	125,642	79,317	18,100	12,200	5,860	
奥州市	99,330	58,531	19,800	17,000	2,780	
西和賀町	59,074	53,013	2,170	1,670	503	
金ケ崎町	17,976	7,214	4,840	3,450	1,390	
平泉町	6,339	3,068	1,420	1,150	273	

資料 農地は農林水産省統計部「耕地面積調査（令和3年）」による。

注 単位未満を四捨五入するため、総数と内訳の合計は必ずしも合致しない。

(4) 産業別生産額

単位 百万円

区 分	総 生 産	第 1 次 産 業				第 2 次 産 業	第 3 次 産 業
		総 額	農 業	林 業	水 産 業		
総数	1,916,316	48,937	45,589	3,234	115	676,697	1,182,454
花巻市	354,452	8,687	8,182	494	11	106,830	237,414
北上市	436,984	5,276	5,096	166	15	167,262	262,570
遠野市	104,031	3,690	2,996	645	49	44,199	55,695
一関市	396,922	13,750	12,537	1,197	15	113,644	267,823
奥州市	446,439	12,051	11,569	472	10	150,248	282,223
西和賀町	19,261	985	806	170	10	4,220	13,973
金ケ崎町	132,043	3,737	3,684	49	5	81,285	46,454
平泉町	26,184	761	719	41	—	9,009	16,302

資料 岩手県「市町村民経済計算（令和元年度）」による。

注1 四捨五入の関係により、第1次産業の総額と内訳の各項目の合計値が合致しない場合がある。

2 総生産は税の控除等により、各産業別生産額の合計値と合致しない。

(5) 産業別就業者数

単位 人

区 分	総 数	第1次産業				第2次産業	第3次産業
		総 数	農 業	林 業	漁 業		
総計	235,596	26,272	25,447	778	47	71,736	133,698
花巻市	47,508	5,062	4,927	128	7	12,648	28,653
北上市	45,361	2,563	2,507	53	3	16,544	25,482
遠野市	13,098	2,178	2,001	171	6	4,169	6,678
一関市	56,355	6,785	6,543	222	20	16,571	32,136
奥州市	58,252	7,484	7,328	152	4	16,960	32,971
西和賀町	2,653	524	490	33	1	585	1,544
金ヶ崎町	8,585	1,167	1,148	13	6	3,183	4,049
平泉町	3,784	509	503	6	-	1,076	2,185

資料 総務省統計局「令和2年国勢調査」による。

注 総数には「分類不能の産業」を含むため、内訳の合計と総数は合致しない。

2 森林の現況

(1) 齢級別森林資源表

面積：ha，材積：立木は千m³ 立竹は千束，成長量：千m³

区分		総数			1 齢級			2 齢級			3 齢級			4 齢級			
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	
総数		150,364.50	23,349	275	1,014.77			419.63			255.39	9	2	385.42	23	2	
立木地	総数	総数	133,765.15	23,349	275	1,014.77		419.63		255.39	9	2	385.42	23	2		
		針	59,745.82	10,582	180	983.01		379.44		227.03	8	2	262.17	20	2		
		広	74,019.33	12,767	95	31.76		40.19		28.36	1		123.25	3			
	人工林	総数	総数	57,061.73	12,019	197	1,012.74		398.96		247.87	9	2	314.76	21	2	
			針	56,256.33	9,973	173	983.01		379.44		227.03	8	2	252.33	19	2	
			広	805.40	2,047	24	29.73		19.52		20.84			62.43	2		
	育成	単層林	総数	56,955.31	11,999	197	934.85		398.96		247.87	9	2	310.28	20	2	
			針	56,149.91	9,956	173	905.12		379.44		227.03	8	2	247.85	19	2	
			広	805.40	2,042	24	29.73		19.52		20.84			62.43	2		
	育成	複層林		(106.42)													
			総数	106.42	21		77.89							4.48			
			針	106.42	16		77.89							4.48			
	天然林	総数	総数	76,703.42	11,330	78	2.03		20.67		7.52			70.66	2		
			針	3,489.49	609	7								9.84	1		
			広	73,213.93	10,721	71	2.03		20.67		7.52			60.82	1		
		育成	単層林	総数	844.44	168	3								8.99	1	
				針	762.66	147	3								8.99	1	
				広	81.78	21											
育成		複層林	総数	1,918.18	259	5	0.59										
			針	84.14	22												
			広	1,834.04	237	4	0.59										
天然生		林	総数	73,940.80	10,903	70	1.44		20.67		7.52			61.67	1		
			針	2,642.69	440	4								0.85			
			広	71,298.11	10,464	66	1.44		20.67		7.52			60.82	1		
竹林																	
無立木地		16,599.35															

注1 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

注3 () は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

面積：ha，材積：立木は千m³ 立竹は千束，成長量：千m³

区分		5 齡級			6 齡級			7 齡級			8 齡級			9 齡級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		713.95	65	5	1,159.95	158	9	2,251.00	386	15	4,805.06	1,006	31	7,174.11	1,571	34		
立木地	総数	総数	713.95	65	5	1,159.95	158	9	2,251.00	386	15	4,805.06	1,006	31	7,174.11	1,571	34	
		針	532.00	55	4	1,000.73	146	8	1,953.91	348	14	4,619.17	903	29	6,972.28	1,398	31	
		広	181.95	10	1	159.22	11	1	297.09	38	1	185.89	103	2	201.83	173	3	
	人工林	総数	総数	603.85	58	4	1,034.18	147	8	1,878.41	344	14	4,611.86	986	30	6,997.48	1,552	34
			針	474.38	50	4	964.73	142	8	1,796.53	324	13	4,552.87	892	28	6,929.21	1,390	31
			広	129.47	7		69.45	6		81.88	20	1	58.99	94	2	68.27	162	3
	育成林	単層林	総数	603.85	58	4	1,010.13	144	8	1,878.41	344	14	4,611.86	986	30	6,997.48	1,552	34
			針	474.38	50	4	940.68	138	8	1,796.53	324	13	4,552.87	892	28	6,929.21	1,390	31
			広	129.47	7		69.45	6		81.88	20	1	58.99	94	2	68.27	162	3
	育成林	複層林	総数				24.05	4										
			針				24.05	4										
			広															
	天然林	総数	総数	110.10	7		125.77	10		372.59	42	2	193.20	20	1	176.63	19	
			針	57.62	5		36.00	5		157.38	24	1	66.30	11		43.07	8	
			広	52.48	2		89.77	6		215.21	18	1	126.90	9		133.56	11	
育成林		単層林	総数	56.61	5		36.48	5		156.38	24	1	66.30	11		46.45	9	
			針	56.61	5		35.80	5		156.38	24	1	66.30	11		42.73	8	
			広				0.68									3.72	1	
育成林		複層林	総数										18.95	1		45.74	2	
			針															
			広										18.95	1		45.74	2	
天然生		林	総数	53.49	2		89.29	6		216.21	18	1	107.95	8		84.44	8	
			針	1.01			0.20			1.00						0.34		
			広	52.48	2		89.09	6		215.21	18	1	107.95	8		84.10	8	
竹林																		
無立木地																		

注1 人工林及び天然林で点生木のみの方については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

注3 () は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

面積：ha，材積：立木は千m³ 立竹は千束，成長量：千m³

区分		1 0 齡級			1 1 齡級			1 2 齡級			1 3 齡級			1 4 齡級					
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量			
総数		8,447.70	1,936	34	11,268.94	2,601	37	9,216.42	1,842	21	7,872.35	1,604	15	3,697.93	741	8			
立木地	総数	総数	8,447.70	1,936	34	11,268.94	2,601	37	9,216.42	1,842	21	7,872.35	1,604	15	3,697.93	741	8		
		針	8,045.62	1,627	29	10,173.70	1,975	28	8,215.31	1,313	14	6,890.54	1,227	10	2,335.90	449	4		
		広	402.08	309	5	1,095.24	626	9	1,001.11	529	7	981.81	377	5	1,362.03	292	5		
	人工林	総数	総数	7,872.48	1,865	32	10,142.83	2,458	33	8,210.85	1,741	19	6,878.65	1,448	12	2,060.81	448	3	
			針	7,845.29	1,589	28	10,088.23	1,959	27	8,161.92	1,308	14	6,844.37	1,214	10	2,057.17	383	3	
			広	27.19	277	4	54.60	499	6	48.93	432	4	34.28	233	2	3.64	64		
	人工林	育成	単層林	総数	7,872.48	1,865	32	10,142.83	2,458	33	8,210.85	1,731	18	6,878.65	1,447	12	2,060.81	448	3
				針	7,845.29	1,589	28	10,088.23	1,959	27	8,161.92	1,302	14	6,844.37	1,214	10	2,057.17	383	3
				広	27.19	277	4	54.60	499	6	48.93	429	4	34.28	233	2	3.64	64	
	人工林	育成	複層林	総数						(66.96)			(6.92)						
				針															
				広															
	天然林	総数	総数	575.22	71	2	1,126.11	144	4	1,005.57	101	2	993.70	156	3	1,637.12	293	5	
			針	200.33	39	1	85.47	17		53.39	5		46.17	12		278.73	65	1	
			広	374.89	32	1	1,040.64	127	4	952.18	97	2	947.53	144	3	1,358.39	228	4	
天然林		育成	単層林	総数	185.55	37	1	19.00	4				4.01	1		65.19	17		
				針	184.02	36	1	18.34	4				3.91	1		42.51	11		
				広	1.53	1		0.66					0.10			22.68	6		
天然林		育成	複層林	総数	151.27	12		175.63	39	1	107.42	11		108.81	10		202.34	23	
				針	1.87	1		12.43	7		5.33	1				5.37	1		
				広	149.40	11		163.20	32	1	102.09	10		108.81	10		196.97	21	
天然林		天然生	総数	238.40	23	1	931.48	101	3	898.15	90	2	880.88	145	3	1,369.59	254	5	
			針	14.44	2		54.70	6		48.06	3		42.26	11		230.85	53	1	
			広	223.96	20	1	876.78	95	3	850.09	87	2	838.62	134	3	1,138.74	201	4	
竹林																			
無立木地																			

注1 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

注3 () は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

面積：ha，材積：立木は千m³ 立竹は千束，成長量：千m³

区分		1 5 齡級			1 6 齡級			1 7 齡級			1 8 齡級			1 9 齡級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		2,704.07	459	6	2,035.14	369	5	1,855.90	343	3	2,044.74	376	3	1,973.32	345	3		
立木地	総数	総数	2,704.07	459	6	2,035.14	369	5	1,855.90	343	3	2,044.74	376	3	1,973.32	345	3	
		針	924.87	157	1	669.56	111	1	831.42	149	1	796.60	121	1	745.27	105		
		広	1,779.20	303	5	1,365.58	258	4	1,024.48	194	2	1,248.14	255	3	1,228.05	241	2	
	育成	総数	総数	676.94	140	1	556.06	107	1	613.58	121	1	648.09	130	1	681.30	120	
			針	656.75	107	1	533.97	78		579.81	90		646.85	96		667.68	89	
			広	20.19	33		22.09	29		33.77	30		1.24	34		13.62	31	
	育成	単層林	総数	676.94	139	1	556.06	106	1	613.58	119	1	648.09	130	1	681.30	120	
			針	656.75	106	1	533.97	77		579.81	89		646.85	96		667.68	89	
			広	20.19	33		22.09	29		33.77	30		1.24	34		13.62	31	
	育成	複層林		(4.01)			(4.48)			(10.83)			(3.78)					
			総数		1		1		1		1							
			針		1		1		1		1							
	天然林	総数	総数	2,027.13	319	5	1,479.08	262	4	1,242.32	222	3	1,396.65	246	3	1,292.02	225	2
			針	268.12	50	1	135.59	32		251.61	58		149.75	24		77.59	16	
			広	1,759.01	269	5	1,343.49	230	4	990.71	164	2	1,246.90	221	2	1,214.43	209	2
育成		単層林	総数	61.21	11		16.13	4		81.12	26		2.90	2		14.77	4	
			針	40.80	7		11.03	2		67.67	22		2.74	1		7.12	3	
			広	20.41	4		5.10	1		13.45	4		0.16			7.65	1	
育成		複層林	総数	300.60	39	1	236.79	34	1	145.27	21		129.22	22		48.02	7	
			針	11.53	2		9.91	3		14.69	3		4.15	1				
			広	289.07	36	1	226.88	31	1	130.58	18		125.07	21		48.02	7	
天然生		林	総数	1,665.32	270	4	1,226.16	225	3	1,015.93	176	2	1,264.53	222	2	1,229.23	214	2
			針	215.79	41		114.65	27		169.25	34		142.86	22		70.47	13	
			広	1,449.53	229	4	1,111.51	197	3	846.68	142	2	1,121.67	200	2	1,158.76	201	2
竹林																		
無立木地																		

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

注3 () は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

面積：ha, 材積：立木は千m³ 立竹は千束, 成長量：千m³

区分		20 齡級			21 齡級以上				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		2,280.54	411	3	62,188.82	9,105	40		
立木地	総数	総数	2,280.54	411	3	62,188.82	9,105	40	
		針	539.85	85		2,647.44	385	2	
		広	1,740.69	325	3	59,541.38	8,720	38	
	人工林	総数	総数	426.43	88		1,193.60	238	1
			針	422.88	62		1,191.88	171	1
			広	3.55	26		1.72	67	
	育成林	単層林	総数	426.43	85		1,193.60	238	1
			針	422.88	60		1,191.88	171	1
			広	3.55	25		1.72	67	
	育成林	複層林	(9.44)						
			総数		3				
			針		2				
	天然林	総数	総数	1,854.11	323	3	60,995.22	8,867	38
			針	116.97	23		1,455.56	214	1
			広	1,737.14	300	3	59,539.66	8,652	37
育成林		単層林	総数	16.40	4		6.95	5	
			針	13.82	4		3.89	4	
			広	2.58			3.06	1	
育成林		複層林	総数	91.98	17		155.55	23	
			針	5.79	1		13.07	2	
			広	86.19	16		142.48	20	
天然生		林	総数	1,745.73	301	3	60,832.72	8,839	38
			針	97.36	18		1,438.60	208	1
			広	1,648.37	283	2	59,394.12	8,631	37
竹林									
無立木地									

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

注3 () は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

(2) 制限林普通林別森林資源表

(面積：h a, 材積：m³、成長量：m³/年)

区分		立木地							無立木地等							
		人工林			天然林				竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地	林地以外の 土地	計	計
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計								
制限林	面積	針	51,387.67	105.32	51,492.99	658.44	79.83	2,404.08	3,142.35	54,635.34						
		広	522.75		522.75	80.51	1,805.99	69,199.60	71,086.10	71,608.85						
		計	51,910.42	105.32	52,015.74	738.95	1,885.82	71,603.68	74,228.45	126,244.19	407.49			14,589.23	14,996.72	141,240.91
	材積	針	9,211,193	16,009	9,227,202	130,370	21,096	399,162	550,628	9,777,830						9,777,830
		広	1,888,003	4,167	1,892,170	19,523	232,074	10,177,337	10,428,934	12,321,104						12,321,104
		計	11,099,196	20,176	11,119,372	149,893	253,170	10,576,499	10,979,562	22,098,934						22,098,934
	成長量	針	158,845.1	333.0	159,178.1	2,364.4	227.8	3,209.4	5,801.6	164,979.7						164,979.7
		広	21,750.4	38.3	21,788.7	364.0	4,257.0	62,466.2	67,087.2	88,875.9						88,875.9
		計	180,595.5	371.3	180,966.8	2,728.4	4,484.8	65,675.6	72,888.8	253,855.6						253,855.6
	普通林	面積	針	4,762.24	1.10	4,763.34	104.22	4.31	238.61	347.14	5,110.48					
			広	282.65		282.65	1.27	28.05	2,098.51	2,127.83	2,410.48					
			計	5,044.89	1.10	5,045.99	105.49	32.36	2,337.12	2,474.97	7,520.96	401.28			1,201.35	1,602.63
材積		針	745,163	384	745,547	16,817	1,017	40,528	58,362	803,909						803,909
		広	154,433		154,433	1,030	4,481	286,446	291,957	446,390						446,390
		計	899,596	384	899,980	17,847	5,498	326,974	350,319	1,250,299						1,250,299
成長量		針	14,197.2	11.7	14,208.9	409.0	9.9	326.3	745.2	14,954.1						14,954.1
		広	1,937.9		1,937.9	60.8	89.2	3,789.3	3,939.3	5,877.2						5,877.2
		計	16,135.1	11.7	16,146.8	469.8	99.1	4,115.6	4,684.5	20,831.3						20,831.3
計		面積	針	56,149.91	106.42	56,256.33	762.66	84.14	2,642.69	3,489.49	59,745.82					
			広	805.40		805.40	81.78	1,834.04	71,298.11	73,213.93	74,019.33					
			計	56,955.31	106.42	57,061.73	844.44	1,918.18	73,940.80	76,703.42	133,765.15	808.77			15,790.58	16,599.35
	材積	針	9,956,356	16,393	9,972,749	147,187	22,113	439,690	608,990	10,581,739						10,581,739
		広	2,042,436	4,167	2,046,603	20,553	236,555	10,463,783	10,720,891	12,767,494						12,767,494
		計	11,998,792	20,560	12,019,352	167,740	258,668	10,903,473	11,329,881	23,349,233						23,349,233
	成長量	針	173,042.3	344.7	173,387.0	2,773.4	237.7	3,535.7	6,546.8	179,933.8						179,933.8
		広	23,688.3	38.3	23,726.6	424.8	4,346.2	66,255.5	71,026.5	94,753.1						94,753.1
		計	196,730.6	383.0	197,113.6	3,198.2	4,583.9	69,791.2	77,573.3	274,686.9						274,686.9

注1 人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、立木地の計欄及び立木地と無立木地等の合計欄には含まれていない。

(3) 市町村別森林資源表

(面積：h a, 材積：m³、成長量：m³/年)

市町村	区分		立木地							無立木地等								
			人工林			天然林				竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地	林地以外の 地	計		
			育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計									
花巻市	面積	針	11,387.94	30.85	11,418.79	242.80	2.93	975.10	1,220.83		12,639.62							
		広	91.52		91.52	53.64	287.50	12,949.01	13,290.15		13,381.67							
		計	11,479.46	30.85	11,510.31	296.44	290.43	13,924.11	14,510.98		26,021.29	119.52			1,127.65	1,247.17	27,268.46	
	材積	針	1,759,072	2,231	1,761,303	52,592	636	159,277	212,505		1,973,808						1,973,808	
		広	567,493	1,827	569,320	13,477	34,701	2,012,369	2,060,547		2,629,867						2,629,867	
		計	2,326,565	4,058	2,330,623	66,069	35,337	2,171,646	2,273,052		4,603,675						4,603,675	
	成長量	針	31,041.7	21.5	31,063.2	661.4	6.1	1,241.7	1,909.2		32,972.4						32,972.4	
		広	6,195.4	17.8	6,213.2	221.8	464.7	15,108.5	15,795.0		22,008.2						22,008.2	
		計	37,237.1	39.3	37,276.4	883.2	470.8	16,350.2	17,704.2		54,980.6						54,980.6	
	北上市	面積	針	5,028.81	12.88	5,041.69		14.57	158.19	172.76		5,214.45						
			広	98.00		98.00		376.65	10,654.66	11,031.31		11,129.31						
			計	5,126.81	12.88	5,139.69		391.22	10,812.85	11,204.07		16,343.76	8.68			1,545.97	1,554.65	17,898.41
材積		針	964,635	4,625	969,260		7,645	16,501	24,146		993,406						993,406	
		広	255,137	703	255,840		56,445	1,466,532	1,522,977		1,778,817						1,778,817	
		計	1,219,772	5,328	1,225,100		64,090	1,483,033	1,547,123		2,772,223						2,772,223	
成長量		針	16,404.4	114.2	16,518.6		94.7	96.7	191.4		16,710.0						16,710.0	
		広	3,485.4	4.7	3,490.1		1,461.7	8,317.9	9,779.6		13,269.7						13,269.7	
		計	19,889.8	118.9	20,008.7		1,556.4	8,414.6	9,971.0		29,979.7						29,979.7	
遠野市		面積	針	17,394.93	8.67	17,403.60	201.29	6.43	564.40	772.12		18,175.72						
			広	476.41		476.41	1.35	107.51	8,596.67	8,705.53		9,181.94						
			計	17,871.34	8.67	17,880.01	202.64	113.94	9,161.07	9,477.65		27,357.66	358.84			1,003.82	1,362.66	28,720.32
	材積	針	2,855,297	2,121	2,857,418	33,833	1,638	88,496	123,967		2,981,385						2,981,385	
		広	471,285	53	471,338	952	13,166	1,360,497	1,374,615		1,845,953						1,845,953	
		計	3,326,582	2,174	3,328,756	34,785	14,804	1,448,993	1,498,582		4,827,338						4,827,338	
	成長量	針	47,954.4	55.6	48,010.0	885.9	6.7	593.0	1,485.6		49,495.6						49,495.6	
		広	5,171.4	0.3	5,171.7	62.8	235.6	10,873.7	11,172.1		16,343.8						16,343.8	
		計	53,125.8	55.9	53,181.7	948.7	242.3	11,466.7	12,657.7		65,839.4						65,839.4	

注1 人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 複層林は下層木のみを対象とする。

(面積：h a、材積：m³、成長量：m³/年)

市町村	区分	立木地								無立木地等					計		
		人工林			天然林				竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地	林地以外の 土 地		計	
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計									
一関市	面積	針	3,393.14	5.80	3,398.94	145.86	2.09	227.99	375.94		3,774.88						
		広	36.57		36.57	1.56	96.32	3,978.36	4,076.24		4,112.81						
		計	3,429.71	5.80	3,435.51	147.42	98.41	4,206.35	4,452.18		7,887.69	122.24			2,081.79	2,204.03	10,091.72
	材積	針	671,119	1,849	672,968	27,266	445	48,903	76,614		749,582						749,582
		広	106,196	77	106,273	624	10,149	686,636	697,409		803,682						803,682
		計	777,315	1,926	779,241	27,890	10,594	735,539	774,023		1,553,264						1,553,264
	成長量	針	10,485.9	56.5	10,542.4	558.4	2.5	379.1	940.0		11,482.4						11,482.4
		広	1,160.1	0.4	1,160.5	15.8	200.8	4,373.2	4,589.8		5,750.3						5,750.3
		計	11,646.0	56.9	11,702.9	574.2	203.3	4,752.3	5,529.8		17,232.7						17,232.7
奥州市	面積	針	6,286.72	7.71	6,294.43	151.78	57.36	295.31	504.45		6,798.88						
		広	21.56		21.56	24.32	447.05	12,080.38	12,551.75		12,573.31						
		計	6,308.28	7.71	6,315.99	176.10	504.41	12,375.69	13,056.20		19,372.19	163.07			4,532.25	4,695.32	24,067.51
	材積	針	1,118,116	1,524	1,119,640	29,668	11,653	56,172	97,493		1,217,133						1,217,133
		広	274,658		274,658	5,305	69,270	2,061,376	2,135,951		2,410,609						2,410,609
		計	1,392,774	1,524	1,394,298	34,973	80,923	2,117,548	2,233,444		3,627,742						3,627,742
	成長量	針	20,384.1	45.8	20,429.9	579.9	125.8	452.9	1,158.6		21,588.5						21,588.5
		広	3,201.4		3,201.4	121.6	1,015.5	11,197.8	12,334.9		15,536.3						15,536.3
		計	23,585.5	45.8	23,631.3	701.5	1,141.3	11,650.7	13,493.5		37,124.8						37,124.8
西和賀町	面積	針	11,425.33		11,425.33		0.76	374.17	374.93		11,800.26						
		広	27.10		27.10		497.77	21,672.90	22,170.67		22,197.77						
		計	11,452.43		11,452.43		498.53	22,047.07	22,545.60		33,998.03	20.20			5,059.13	5,079.33	39,077.36
	材積	針	2,351,381		2,351,381		96	59,182	59,278		2,410,659						2,410,659
		広	321,734		321,734		50,434	2,636,688	2,687,122		3,008,856						3,008,856
		計	2,673,115		2,673,115		50,530	2,695,870	2,746,400		5,419,515						5,419,515
	成長量	針	42,454.6		42,454.6		1.9	672.8	674.7		43,129.3						43,129.3
		広	3,874.4		3,874.4		929.2	14,916.2	15,845.4		19,719.8						19,719.8
		計	46,329.0		46,329.0		931.1	15,589.0	16,520.1		62,849.1						62,849.1

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 複層林は下層木のみを対象とする。

(面積：h a, 材積：m³、成長量：m³/年)

市町村	区分	立木地								無立木地等					計		
		人工林			天然林				竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地	林地以外の 土 地		計	
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計									
金ヶ崎町	面積	針	1,045.34	40.51	1,085.85	1.03		28.68	29.71		1,115.56						
		広	22.44		22.44	0.91	21.24	1,263.99	1,286.14		1,308.58						
		計	1,067.78	40.51	1,108.29	1.94	21.24	1,292.67	1,315.85		2,424.14	13.99			429.49	443.48	2,867.62
	材積	針	202,547	4,043	206,590	210		5,899	6,109		212,699						212,699
		広	40,389	1,507	41,896	195	2,390	222,466	225,051		266,947						266,947
		計	242,936	5,550	248,486	405	2,390	228,365	231,160		479,646						479,646
	成長量	針	3,713.9	51.1	3,765.0	1.7		53.3	55.0		3,820.0						3,820.0
		広	503.9	15.1	519.0	2.8	38.7	1,235.6	1,277.1		1,796.1						1,796.1
		計	4,217.8	66.2	4,284.0	4.5	38.7	1,288.9	1,332.1		5,616.1						5,616.1
平泉町	面積	針	187.70		187.70	19.90		18.85	38.75		226.45						
		広	31.80		31.80			102.14	102.14		133.94						
		計	219.50		219.50	19.90		120.99	140.89		360.39	2.23			10.48	12.71	373.10
	材積	針	34,189		34,189	3,618		5,260	8,878		43,067						43,067
		広	5,544		5,544			17,219	17,219		22,763						22,763
		計	39,733		39,733	3,618		22,479	26,097		65,830						65,830
	成長量	針	603.3		603.3	86.1		46.2	132.3		735.6						735.6
		広	96.3		96.3			232.6	232.6		328.9						328.9
		計	699.6		699.6	86.1		278.8	364.9		1,064.5						1,064.5
森林計画計	面積	針	56,149.91	106.42	56,256.33	762.66	84.14	2,642.69	3,489.49		59,745.82						
		広	805.40		805.40	81.78	1,834.04	71,298.11	73,213.93		74,019.33						
		計	56,955.31	106.42	57,061.73	844.44	1,918.18	73,940.80	76,703.42		133,765.15	808.77			15,790.58	16,599.35	150,364.50
	材積	針	9,956,356	16,393	9,972,749	147,187	22,113	439,690	608,990		10,581,739						10,581,739
		広	2,042,436	4,167	2,046,603	20,553	236,555	10,463,783	10,720,891		12,767,494						12,767,494
		計	11,998,792	20,560	12,019,352	167,740	258,668	10,903,473	11,329,881		23,349,233						23,349,233
	成長量	針	173,042.3	344.7	173,387.0	2,773.4	237.7	3,535.7	6,546.8		179,933.8						179,933.8
		広	23,688.3	38.3	23,726.6	424.8	4,346.2	66,255.5	71,026.5		94,753.1						94,753.1
		計	196,730.6	383.0	197,113.6	3,198.2	4,583.9	69,791.2	77,573.3		274,686.9						274,686.9

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 複層林は下層木のみを対象とする。

(4) 制限林の種類別面積

(面積：ha)

区分	市町村											合計					
	花巻市	北上市	遠野市	一関市	奥州市	西和賀町	金ケ崎町	平泉町									
保安林	水源かん養保安林	26,176.12	15,143.97	21,890.42	8,661.73	22,909.80	36,064.08	2,558.35	215.76			133,620.23					
	土砂流出防備保安林		2,297.78	2,466.13	168.82	575.38	1,187.16	214.74				6,910.01					
	土砂崩壊防備保安林	11.87	135.14		29.84	30.01	155.08					361.94					
	飛砂防備保安林																
	防風保安林																
	水害防備保安林																
	潮害防備保安林																
	干害防備保安林									30.38		30.38					
	防雪保安林																
	防露保安林																
	なだれ防止保安林						3.85					3.85					
	落石防止保安林																
	防火保安林																
	魚つき保安林																
	航行目撃保安林																
	保健保安林	(903.80)	(1,595.66)	(36.91)	6.37	(260.84)	(9.96)	(565.75)				(3,362.96)	6.37				
	風致保安林	(903.80)				18.72	(270.80)					(9.96)	18.72				
計	(903.80)	26,187.99	(1,595.66)	17,576.89	(36.91)	24,362.92	8,879.11	(270.80)	23,515.19	37,410.17	(565.75)	2,773.09	246.14	(3,372.92)	140,951.50		
保安施設地区																	
砂防指定地	(65.18)	3.10	(19.41)	1.36	(23.90)	36.85	(35.60)	24.16	(42.41)	0.32	(291.91)	5.07	14.49		(478.41)	85.35	
特別保護地区																	
国立公園																	
第一種特別地域																	
第二種特別地域																	
第三種特別地域																	
地種区分未定地域																	
計						(87.71)		(246.78)	0.01						(603.24)	0.01	
国立公園																	
特別保護地区	(268.75)					(87.71)		(246.78)	0.01						(603.24)	0.01	
第一種特別地域	(240.22)		(903.95)		(456.24)		(879.04)	0.05	(2,851.49)	96.20	(1,248.73)		(376.43)		(6,956.10)	96.25	
第二種特別地域	(451.88)	0.62	(189.59)	5.21	(41.86)		(1,389.78)	5.87	(1,558.64)	37.27				(3,631.75)	48.97		
第三種特別地域	(637.16)	0.09	(1,010.08)	3.96	(966.90)	0.03	(1,491.46)	12.23	(1,587.87)	4.74		(291.62)	3.10	(5,985.09)	24.15		
地種区分未定地域																	
計	(1,598.01)	0.71	(2,103.62)	9.17	(1,552.71)	0.03	(4,007.06)	18.16	(5,998.00)	138.21	(1,248.73)		(668.05)	3.10	(17,176.18)	169.38	
都道府県立																	
第一種特別地域																	
第二種特別地域											(151.49)	5.20			(151.49)	5.20	
第三種特別地域	(71.07)	5.99													(71.07)	5.99	
地種区分未定地域																	
計	(71.07)	5.99									(151.49)	5.20			(222.56)	11.19	
原生自然環境保全地域																	
自然環境保全地域特別地区											(1,450.51)				(1,450.51)	17.00	
都道府県自然環境保全地域特別地区						17.00										17.00	
鳥獣保護区特別保護地区	(388.69)				(585.81)		(1,125.88)								(2,100.38)		
緑地保全地区																	
風致地区																	
特別母樹林							3.78									3.78	
史跡名勝天然記念物	(499.50)		(2.34)		(802.32)				(0.34)						(1,304.50)		
種の保存法による管理地区																	
その他					(0.22)				(12.19)	2.71					(12.41)	2.71	
合計	(3,526.25)	26,197.79	(3,721.03)	17,587.42	(3,001.87)	24,416.80	(6,168.54)	8,925.21	(6,323.74)	23,656.43	(3,142.64)	37,420.44	(1,233.80)	2,790.68	246.14	(26,117.87)	141,240.91

注 () は、重複する制限林を表す。

(5) 樹種別材積表

単位 材積：千m³

樹種 林種	スギ	ヒバ	カラマツ	アカマツ	その他 針葉樹	ブナ	ナラ類	その他 広葉樹
総数	5,876	42	2,782	1,621	260	6,110	653	6,004
人工林	5,821	3	2,768	1,244	137	13	26	2,008
天然林	56	39	15	377	123	6,098	627	3,996

(6) 荒廃地の面積

単位 面積：ha

区分	荒廃地
総数	195.66
花巻市	37.33
北上市	21.25
遠野市	58.23
一関市	0.03
奥州市	19.21
西和賀町	59.61

(7) 森林の被害

単位 面積：ha

区分	風水害				病虫害				雪害				獣類害			
	30	元	2	3	30	元	2	3	30	元	2	3	30	元	2	3
花巻市	-	-	0	-	3	1	3	1	-	-	-	0	-	1	-	0
北上市	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
遠野市	-	-	0	-	1	-	0	4	-	-	-	-	-	3	1	52
一関市	-	-	-	-	4	3	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-
奥州市	-	0	0	-	-	0	-	0	-	-	0	0	-	-	-	-
西和賀町	-	-	-	-	0	0	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
金ヶ崎町	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
平泉町	-	-	-	-	0	-	4	2	-	-	0	-	-	-	-	-

資料 「東北森林管理局事業統計書」による。

注 「-」は被害なし、「0」は被害が0.5ha未満。

3 林業の動向

(1) 森林組合及び生産森林組合の現況

ア 構成

単位 員数：人 金額：千円 面積：ha

市町村別	組合名	組合員数	常勤役 職員数	出資金 総額	組合員所有 (又は組合経営) 森林面積	備考	
森林組合	総数	6 組合	21,003	84	955,629	139,962	
	花巻市	花巻市	2,277	18	131,013	19,634	
	北上市	北上市	1,365	7	22,152	2,888	
	西和賀町	西和賀町	958	5	142,807	8,425	
	奥州市 金ヶ崎町	奥州地方	5,059	11	121,408	27,927	
	一関市 平泉町	一関地方	8,305	29	456,691	57,033	
	遠野市	遠野地方	3,039	14	81,558	24,055	
生産森林組合	総数	32 組合	6,376	8	478,888	6,602	
	花巻市	大江	100	0	8,359	40	
		豊沢	42	0	9,200	154	
		大沢川山	156	0	9,165	42	R4 解散
		丹内	174	0	20,000	216	
		台山	622	0	46,135	270	
		大瀬川	140	0	2,800	21	
	西和賀町	下前	28	0	7,000	157	
	奥州市	生母	515	0	5,090	305	
		若柳	351	0	2,808	57	
		金場	65	0	8,480	48	
		増沢	96	0	1,920	133	
		玉里	482	0	9,990	160	
		中沢	18	0	3,305	68	
		石山	111	0	2,280	14	
		大森山	54	0	4,560	76	
		阿茶山	15	0	3,016	31	
大田代		87	7	98,795	638		
伊手		351	0	12,844	152		
原体	116	0	6,960	120			
町・北羽毛	73	0	1,520	53			
赤生津	180	0	25,227	134			

一関市	山目	426	0	16,188	170
	金沢	493	1	493	350
	老松	316	0	4,740	136
	日形	101	0	13,938	138
	達古袋	29	0	6,410	41
	磐清水	282	0	3,819	28
	猿沢	236	0	7,080	367
	鳥海	228	0	25,323	284
	大籠	165	0	81,625	756
遠野市	上郷	226	0	23,350	850
	細越	98	0	6,468	593

資料 森林組合一斉調査資料（令和元年度実績）

注 市町村別欄は、各組合の事務所所在地を表示。

イ 事業内容及び活動状況等

単位：千円

森林組合名	指導事業	販売事業	林産事業	加工事業	購買事業
総数	3,042	540,511	553,995	70,089	51,571
花巻市	200	290,846	64,168	0	4,048
北上市	0	15,578	124,305	0	2,119
西和賀町	2,683	16,549	25,355	70,089	5,948
奥州地方	0	63,165	86,481	0	9,190
一関地方	32	124,310	184,161	0	21,934
遠野地方	127	30,063	69,525	0	8,332

森林組合名	養苗	森林造成事業	利用・福利厚生事業	金融事業	合計
総数	0	939,511	319,381	6,102	2,484,202
花巻市	0	54,547	83,372	6,102	503,283
北上市	0	53,963	57,179	0	253,144
西和賀町	0	66,693	27,227	0	214,544
奥州地方	0	211,950	28,184	0	398,970
一関地方	0	446,495	85,150	0	862,082
遠野地方	0	105,863	38,269	0	252,179

資料 森林組合一斉調査資料（令和元年度実績）

(2) 林業事業体等の現況

単位：事業体数

区 分	林業経営体	木材卸売業	木材・木製品製造業
総 数	57	3	35
花 巻 市	11	-	2
北 上 市	3	-	8
遠 野 市	10	1	7
一 関 市	21	2	8
奥 州 市	12	-	6
西 和 賀 町	x	-	1
金 ケ 崎 町	x	-	1
平 泉 町	x	-	2

資料 林業経営体は「2020 農林業センサス」（農林水産省）による。
 （調査対象数が2以下の場合、調査結果の秘密保護の観点から x と表示）
 木材卸売業は、森林整備課調べ。
 木材・木製品製造業は岩手県の工業(2020)による。

(3) 林業労働力の概況

単位 人、%

区 分	就業者数 (15歳以上)		
	総 数	うち林業	割 合
総 計	235,596	778	0.33%
花 巻 市	47,508	128	0.27%
北 上 市	45,361	53	0.12%
遠 野 市	13,098	171	1.31%
一 関 市	56,355	222	0.39%
奥 州 市	58,252	152	0.26%
西 和 賀 町	2,653	33	1.24%
金 ケ 崎 町	8,585	13	0.15%
平 泉 町	3,784	6	0.16%

資料 総務省統計局「令和2年国勢調査」による。

注 総数には「分類不能の産業」を含む。

(4) 林業機械化の概況（高性能林業機械）

単位 台

機械種名	総数	備考
フェラーバンチャ	1	
スキッド	3	
プロセッサ	36	
ハーベスタ	27	
フォワーダ	35	
タローヤーダ	2	
スイングヤーダ	6	
グラップルバケット	41	

資料 令和3年度林業機械保有台数調査（令和2年度末実績）

4 前期計画の実行状況

(1) 伐採立木材積

単位 材積：千 m^3 実行歩合：%

区 分	総 数			主 伐			間 伐		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	1,651	1,236	75	801	620	77	850	616	72
針葉樹	1,403	1,091	78	674	534	79	729	557	76
広葉樹	248	144	58	127	85	67	121	59	49

注 単位未満を四捨五入するため、内訳の合計と総数は必ずしも合致しない。

(2) 間伐面積

単位 面積：ha 実行歩合：%

計 画	実 行	実行歩合
11,593	4,841	42

(3) 人工造林・天然更新別の面積

単位 面積：ha 実行歩合：%

総 数			人工造林			天然更新		
計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
2794	1058	38	2545	1012	40	249	47	19

(4) 林道の開設又は拡張の数量

単位 延長：km 実行歩合：%

開 設			拡 張		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
47.9	29.3	61%	2.5	3.1	124%

注 「－」は該当なし、「0」は0.5km未満。

(5) 保安施設の数量

ア 保安林の指定又は解除の面積

単位 面積：ha 実行歩合：%

種 類	指 定			解 除		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	0.00	222.93	0.00	0.00	1.28	0.00
水 源 涵 養	0.00	0.00	0.00	0.00	1.28	0.00
災 害 防 備	0.00	222.93	0.00	0.00	0.00	0.00
保健、風致の保存等	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

注 「－」は該当なし。

イ 保安施設地区の指定

該当なし。

ウ 保安施設事業

単位 地区数

計 画	実 行
114	34

注 「－」は該当なし。

5 林地の異動状況（森林計画の対象森林）

(1) 森林より森林以外へ異動

単位 面積：ha

農用地	ゴルフ場等 レジャー施設 用地	住宅、別荘、工場等 建物敷地及びその 附帯地	採石採土地	その他	合 計
-	-	-	-	235.9	235.9

注 「－」は該当なし。

(2) 森林以外より森林へ異動

単位 面積：ha

原 野	農用地	その他	合 計
-	6.86	26.61	33.47

注 「－」は該当なし。

6 森林資源の推移

(1) 分期別伐採立木材積等

単位 材積：千 m^3 面積：ha

分 期		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
伐 採 立 木 材 積	総 数	総 数	1,885	1,667	1,287	1,065	1,079	1,097	1,112	1,145
		針葉樹	1,579	1,462	1,268	1,046	1,059	1,077	1,091	1,122
		広葉樹	306	205	20	20	20	20	21	23
	主 伐	総 数	1,010	774	454	241	241	247	231	241
		針葉樹	833	700	435	221	221	228	210	218
		広葉樹	177	74	19	19	19	19	21	23
	間 伐	総 数	875	893	834	825	838	850	881	904
		針葉樹	746	762	833	824	838	849	881	904
		広葉樹	129	131	0	0	0	0	0	0
造林 面積	総 数	2,182	2,894	2,174	1,519	1,177	1,144	1,097	1,093	
	人工造林	1,529	2,047	1,633	943	596	576	519	474	
	天然更新	653	847	540	576	581	568	578	619	

注1 分期とは5年を一括りとする単位。第I分期は令和5年から令和9年までとなる。

2 単位未満を四捨五入するため、内訳の合計と総数は必ずしも合致しない。

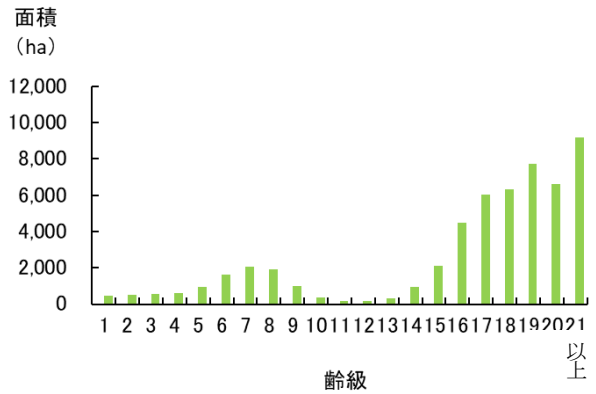
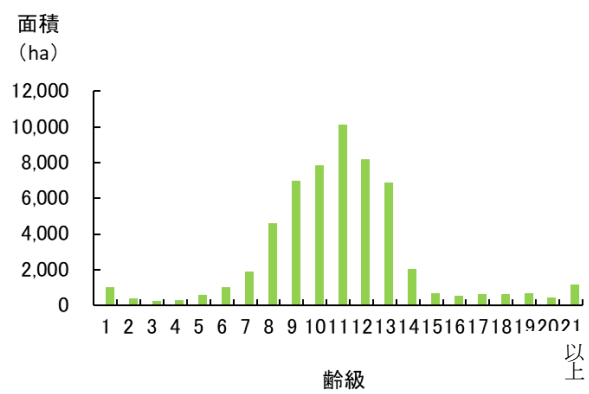
(2) 分期別期首資源表

單位 面積：ha、材積：1,000m³

區分	面積													材積
	總數	1・2 齡級	3・4 齡級	5・6 齡級	7・8 齡級	9・10 齡級	11・12 齡級	13・14 齡級	15・16 齡級	17・18 齡級	19・20 齡級	21 齡級以上		
I 分期	總數	133,765.15	1,395.46	638.57	1,861.88	7,056.06	16,621.81	20,518.84	11,573.74	4,743.46	3,907.95	4,258.58	62,188.82	23,349
	人工林	57,061.73	1,372.76	560.39	1,626.01	6,490.27	14,869.96	18,387.16	8,942.92	1,237.25	1,268.98	1,112.45	1,193.60	12,019
	育成單層林	56,955.31	1,333.81	558.15	1,613.98	6,490.27	14,869.96	18,353.68	8,939.46	1,233.00	1,261.67	1,107.73	1,193.60	11,999
	育成複層林	106.42	38.95	2.24	12.03	0.00	0.00	33.48	3.46	4.25	7.31	4.72	0.00	21
	天然林	76,703.42	22.70	78.18	235.87	565.79	751.85	2,131.68	2,630.82	3,506.21	2,638.97	3,146.13	60,995.22	11,330
	天然生林	73,940.80	22.11	69.19	142.78	324.16	322.84	1,829.63	2,250.47	2,891.48	2,280.46	2,974.96	60,832.72	10,903
II 分期	總數	131,348.74	3,217.27	675.02	1,000.94	3,364.50	12,101.16	18,714.08	14,718.57	5,726.08	3,701.86	3,855.81	64,273.46	23,682
	人工林	54,937.32	2,904.70	646.83	820.18	2,881.60	11,792.81	17,078.44	12,814.92	2,213.49	1,032.61	1,166.22	1,585.54	12,228
	育成單層林	54,164.02	2,532.31	646.83	817.94	2,869.57	11,459.37	17,078.44	12,777.98	2,211.48	1,024.95	1,164.33	1,580.82	12,113
	育成複層林	773.30	372.39	0.00	2.24	12.03	333.44	0.00	36.94	2.01	7.66	1.89	4.72	116
	天然林	76,411.42	312.57	28.19	180.76	482.90	308.35	1,635.64	1,903.65	3,512.59	2,669.25	2,689.59	62,687.92	11,453
	天然生林	73,521.06	279.49	28.19	115.16	290.04	130.91	1,030.67	1,683.41	2,883.50	2,166.66	2,495.99	62,417.04	10,982
III 分期	總數	131,684.55	4,835.15	1,394.87	622.61	1,757.44	7,536.30	14,796.13	18,074.44	8,689.80	4,442.17	3,704.19	65,831.27	24,199
	人工林	54,745.54	3,977.96	1,372.76	544.43	1,526.81	7,032.51	13,893.62	16,101.93	6,165.46	951.61	1,046.26	2,132.20	12,546
	育成單層林	52,542.44	2,929.62	1,333.81	542.19	1,514.78	6,317.61	13,560.18	16,068.45	6,162.00	947.37	1,038.95	2,127.48	12,208
	育成複層林	2,203.10	1,048.34	38.95	2.24	12.03	714.90	333.44	33.48	3.46	4.25	7.31	4.72	338
	天然林	76,939.01	857.20	22.11	78.18	230.63	503.79	902.50	1,972.50	2,524.34	3,490.56	2,657.93	63,699.27	11,653
	天然生林	73,775.46	730.30	22.11	69.19	137.54	262.16	259.80	1,670.46	2,144.00	2,814.20	2,299.11	63,366.59	11,127
IV 分期	總數	131,944.23	4,424.60	3,217.27	675.02	995.93	3,866.10	11,864.24	16,810.89	13,396.20	5,564.51	3,605.30	67,524.17	24,803
	人工林	54,787.52	3,680.29	2,904.70	646.83	820.18	3,396.03	11,333.91	15,183.64	11,549.71	1,702.06	927.81	2,642.36	12,934
	育成單層林	51,204.40	2,275.38	2,532.31	646.83	817.94	2,694.00	10,285.57	15,183.64	11,512.77	1,700.06	920.16	2,635.75	12,350
	育成複層林	3,583.12	1,404.91	372.39	0.00	2.24	702.04	1,048.34	0.00	36.94	2.01	7.66	6.61	583
	天然林	77,156.71	744.32	312.57	28.19	175.75	470.07	530.33	1,627.25	1,846.49	3,862.45	2,677.48	64,881.80	11,869
	天然生林	73,782.47	538.66	279.49	28.19	110.15	277.21	125.49	1,022.56	1,626.26	3,184.29	2,172.34	64,417.82	11,298
V 分期	總數	132,495.22	2,968.22	4,835.15	1,394.87	619.65	1,881.70	7,783.82	14,040.19	17,148.46	8,510.20	4,394.79	68,913.47	25,727
	人工林	55,087.35	2,575.74	3,977.96	1,372.76	544.43	1,660.62	7,092.45	13,142.51	15,215.21	5,542.79	887.19	3,075.69	13,634
	育成單層林	51,011.40	1,639.23	2,929.62	1,333.81	542.19	1,402.10	5,687.54	12,809.07	15,181.73	5,539.33	882.94	3,063.83	12,802
	育成複層林	4,075.95	936.51	1,048.34	38.95	2.24	258.52	1,404.91	333.44	33.48	3.46	4.25	11.86	832
	天然林	77,407.87	392.48	857.20	22.11	75.22	221.08	696.07	897.68	1,933.24	2,967.41	3,507.61	65,837.77	12,093
	天然生林	73,792.79	168.55	730.30	22.11	66.23	127.99	253.50	255.28	1,631.22	2,563.15	2,827.52	65,146.94	11,473
VI 分期	總數	132,524.10	1,919.08	4,424.60	3,217.27	673.48	890.24	4,027.63	11,551.21	16,349.74	13,423.31	5,541.80	70,505.73	26,445
	人工林	54,866.65	1,538.76	3,680.29	2,904.70	646.83	720.27	3,332.42	11,025.79	14,729.94	11,135.60	1,662.26	3,479.79	14,152
	育成單層林	50,773.59	1,288.56	2,275.38	2,532.31	646.83	714.33	2,383.89	9,977.45	14,729.94	11,098.66	1,660.26	3,465.99	13,208
	育成複層林	4,083.06	250.20	1,404.91	372.39	0.00	5.94	948.53	1,048.34	0.00	36.94	2.01	13.81	944
	天然林	77,657.45	380.32	744.32	312.57	26.65	169.97	695.21	525.43	1,619.80	2,287.71	3,879.53	67,025.94	12,293
	天然生林	73,805.53	159.96	538.66	279.49	26.65	104.37	265.87	120.71	1,015.40	2,039.49	3,197.21	66,057.73	11,621
VII 分期	總數	132,527.19	1,539.29	2,968.22	4,835.15	1,392.37	555.44	1,841.90	7,521.79	13,670.22	17,121.94	8,428.31	72,652.54	27,113
	人工林	54,611.09	1,172.05	2,575.74	3,977.96	1,372.76	482.99	1,390.28	6,833.58	12,776.84	14,723.06	5,448.70	3,857.14	14,628
	育成單層林	50,528.14	1,168.12	1,639.23	2,929.62	1,333.81	480.51	1,128.06	5,428.67	12,443.40	14,689.58	5,445.24	3,841.90	13,571
	育成複層林	4,082.95	3.93	936.51	1,048.34	38.95	2.47	262.22	1,404.91	333.44	33.48	3.46	15.24	1,057
	天然林	77,916.10	367.24	392.48	857.20	19.62	72.45	451.61	688.21	893.38	2,398.89	2,979.61	68,795.40	12,485
	天然生林	73,815.74	151.73	168.55	730.30	19.62	63.46	119.55	245.85	251.29	2,067.59	2,572.05	67,425.75	11,756
VIII 分期	總數	132,548.83	1,457.97	1,919.08	4,424.60	3,200.78	636.19	924.17	3,833.78	11,218.03	16,380.03	13,179.34	75,374.87	27,732
	人工林	54,389.75	1,094.76	1,538.76	3,680.29	2,904.70	612.07	521.76	3,148.74	10,696.95	14,256.18	10,901.70	5,033.84	15,087
	育成單層林	50,306.74	1,094.29	1,288.56	2,275.38	2,532.31	611.82	515.59	2,200.21	9,648.61	14,256.18	10,864.76	5,019.04	13,921
	育成複層林	4,083.01	0.48	250.20	1,404.91	372.39	0.25	6.17	948.53	1,048.34	0.00	36.94	14.81	1,166
	天然林	78,159.08	363.21	380.32	744.32	296.08	24.12	402.41	685.04	521.08	2,123.85	2,277.64	70,341.02	12,644
	天然生林	73,814.99	149.98	159.96	538.66	263.00	24.12	99.26	255.85	116.48	1,488.19	2,027.24	68,692.25	11,863
IX 分期	總數	132,514.80	1,370.87	1,539.29	2,968.22	4,776.90	1,344.03	704.50	1,700.22	7,270.81	13,765.58	16,722.08	80,352.29	28,291
	人工林	54,099.29	993.23	1,172.05	2,575.74	3,977.96	1,326.70	367.18	1,256.12	6,589.57	12,351.37	14,326.67	9,162.70	15,502
	育成單層林	50,016.34	992.72	1,168.12	1,639.23	2,929.62	1,287.49	364.47	993.90	5,184.66	12,017.93	14,293.19	9,145.01	14,231
	育成複層林	4,082.95	0.51	3.93	936.51	1,048.34	39.21	2.72	262.22	1,404.91	333.44	33.48	17.68	1,271
	天然林	78,415.51	377.65	367.24	392.48	798.94	17.33	337.32	444.10	681.24	1,414.20	2,395.41	71,189.60	12,789
	天然生林	73,804.20	168.00	151.73	168.55	672.05	17.33	61.02	112.09	239.09	737.86	2,061.90	69,414.58	11,955

注 單位未滿を四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

○ 第I分期及び第IX分期期首の人工林齢級別面積



第I分期期首 (令和5年)

第IX分期期首 (令和35年)

注 年齢級は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1年齢級」と数える。

7 その他

(1) 持続的伐採可能量

単位 材積：千 m³

主伐 (皆伐) 上限量の目安
195

(2) その他

ア 国有林の地域別の森林計画の沿革

樹立時期	区 分	計画期間	
平成 13 年 12 月	一斉変更	自 平成 10 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日	10 年
平成 14 年 12 月	經常樹立	自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日	10 年
平成 19 年 12 月	經常樹立	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	10 年
平成 23 年 12 月	一斉変更	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	10 年
平成 24 年 12 月	經常樹立	自 平成 25 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	10 年
平成 26 年 12 月	一斉変更	自 平成 25 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	10 年
平成 28 年 12 月	一斉変更	自 平成 25 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	10 年
平成 29 年 12 月	經常樹立	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 10 年 3 月 31 日	10 年
平成 30 年 12 月	一斉変更	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 10 年 3 月 31 日	10 年
令和元年 12 月	一斉変更	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 10 年 3 月 31 日	10 年
平成 2 年 12 月	一斉変更	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 10 年 3 月 31 日	10 年
令和 3 年 12 月	一斉変更	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 10 年 3 月 31 日	10 年
令和 4 年 12 月	經常樹立	自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 15 年 3 月 31 日	10 年

イ 担当者の役職及び氏名並びに樹立に従事した期間

職 名	氏 名	樹立に従事した期間
計 画 課 長	富岡 弘一郎	令和4年4月～令和4年10月
	松井 章二	令和4年11月～令和4年12月
流域管理指導官	畑中 辰巳	令和4年4月～令和4年12月
計画課長補佐	鳴海 徹	令和4年4月～令和4年12月
森林施業調整官	武田 春賀	令和4年4月～令和4年9月
計画調整官	鈴木 春美	令和4年4月～令和4年12月
計画調整官	藤木 久司	令和4年4月～令和4年12月
企画係長	木下 知久	令和4年4月～令和4年12月
経営計画官	佐野 智一	令和4年4月～令和4年9月
経営計画官	鈴木 研介	令和4年4月～令和4年12月
企画係員	平田 菜生	令和4年10月～令和4年12月
企画係員	畑野 有美	令和4年4月～令和4年12月